

の海で、黄海の如きは僅かに四十米内外の深さにとどまつて居る。

日本海は東支那海に比べると稍深く、二四三九米に達する部分がある。けれども教科書に挿入した断面圖、並びにそれをもとにして作製したブロックダイヤグラム(一六六頁)によつて明かに知られるやうに、其の深さは到底表日本に沿ふ海洋のそれとは比較にならぬ程の淺さである。日本列島は遂にアジア大陸の陸島 Continental Island である。

二 海流

海流

□海流の起因

海流 (Oceanic Current) は或る一定の方向に絶えず進む海水の運動の謂である。

斯うした特定の運動が海洋に何故存在するかに就いて、カールチープリッツ Kahl

Zöppritz の「風による説」 Drift Theory と、エクマン Ekman の「地球自轉による説」と二つある。

カールチープリッツの説の大意は、

風が絶えず一方から他方に吹き進むと、水の表面が一方に流される。それが久しく續く時、そこに海水の流れを生ずる。そして水分子には相當の密着力があるので、表面の水が流されると下方の水もそれに伴つて流されて行く。

と云ふのである。これだけでは實際の説明として物足りない感がする。エクマンの説は、

海流は風の方向とは必ずしも一致しない。幾分か角度を有するのが普通である。此の角度を生ずるのは、地球自轉の力が加はる結果である。いつたい自轉が與へる力は水に對してばかりでは無く、風に對しても同様である。水界・氣界に及ぼす自轉の力は赤道に最も大で、極に進むに従つて小になる。それで赤道から極に進

むものは、赤道に於ける地球自轉の速力により、極に進むに従つて先きへ先きへと進み過ぎるのである。それで、北半球に於ては右廻りとなり、南半球に於ては左廻りとなる。——風と同じやうに、此の力を海水がやはり授けられて居ると云つて居る。

此の二つの説を併せると、海流の起因が稍々説明されるやうに思ふ。

□大洋に於ける標式的海流

三大洋とも海流の流れ方は甚だ類似的である。

赤道の兩側を二つの海流が東から西に流れて居る。これを赤道海流と呼んで居る。

赤道海流の間に反對赤道海流と稱する、稍々微弱な流れが西から東に向つて居る。

赤道海流は其の西方の大陸に近づくと共に進路を北若しくは南に轉換し、大陸の海岸線に稍々平行して進み、北緯四十度附近(印度洋は之れを缺く)・南緯四十度附近で東に轉向し、東側の大陸と南北五十度線附近で衝突して其の流れがそれ／＼二分して

居る。其の赤道に近づいてもとの出發點(?)附近に歸還するものは比較的寒流となつて流れ、赤道を遠ざかるものは尙ほも附近の海に比して温暖を持続するが、極地の海洋より流れ出る寒流に會して其の暖流性を全然消失する。

□海流と人生

海流が氣候に關係し、従つて人生に影響を及ぼす程度に著しいものがある。ヨーロッパが緯度の割合に温暖で、人類の活動地として適當なる根本にはメキシコ灣流と名づけられる暖流の影響がある。裏日本が思つたよりも温暖であるのは、日本海流より分岐する對馬海流の恩恵であることは世間周知の事實である。

ところが大陸の東側の北部は、アジヤは千島海流北米はラブラドル海流と云ふやうに、寒流に洗はれて居るので緯度の割合に寒冷である。但し寒流は其中に多くの微小動物を棲息せしめて居るので(従つて光線を反射する事が多く、綠色若しくは黃綠色に見える)、之れを食餌として群集する魚族が多く、爲めに盛んなる漁場成立の基礎

をなして居る。

日本海流の如きは其の速度が大約四海里にも及ぶから、之れに乗つて北米に赴く船は石炭の經濟ともなり、交通貿易上に及ぼす影響が甚だ大である。

大西洋に於ける海流

□メキシコ灣流について

メキシコ灣流は單に「灣流」Gulf Stream と呼ばれる事が屢々ある。赤道海流が西し、小アンチル列島の島々の間を通過してカリブ海に入り、ついでメキシコ灣に進み、フロリダ海峽より再び大西洋に出ると共にアンチル列島の東側を北進するアンチル海流を合し、北米大陸の東岸を洗つて遠くヨーロッパの西海岸に向つて居る。フロリダ海峽に於ける此の海流の速度は毎時五海里を示して居る。

灣流はヨーロッパに近づくと共に本流より二つの分岐を生ずる。一つはイベリヤ半島の西方から南下してアフリカの西北岸に向ふもので、カナリヤ海流若しくは北アメ

リカ海流と呼ばれて居る。此の海流は附近の海面の温度とさまで違はぬばかりか、南するに従つて却つて比較的寒冷になるので、寒流と名づけられる場合がある。

分流の今一つはイスランドの近海よりグリーンランド近くに近う進んで行く。そして、極地から來る優勢な寒流ラブラドル・グリーンランド等の海流の爲めに寒流化されてしまふのである。

一方あくまでも直進してフランス並びにイギリス以北の海岸を洗ふものは、遂にスカンデナヴィヤ半島のフィヨルド地形の岸に沿つて北進し、北極海中に遠く流れこむ。此の海流がヨーロッパの文化に直接間接の交渉を持つことは枚擧に暇が無い程である。ヨーロッパの極北地ノルウェーが、漁業國として知られ、嚴冬に於ても結氷を見ないのは全く此の灣流の恩恵である。北極探險船がしばしば此の海流を利用して進むのも、さもあるべき事である。

□ラブラドル海流其の他

バツフィン灣の奥からラブラドル Labrador 海流が南下してニューファンドランド島沖合でメキシコ灣流に衝突して居る。此の寒流はグリーンランド島の供給する氷山を浮べて南下するので屢々北大西洋上に航海の危険を惹起する。

暖寒二流の會合によつて發生する濃霧(ガス)が、氷山の危難を與へる事も多いのである。氷山其のものも下部の速かな溶解の爲めに其の安定を失つて、轉倒する事が屢々あるから船舶に取つては一層の危険である。

しかし乍ら一方に於ては氷山の溶解により多くの不純物質(小石・泥等)をニューファンドランド沖に堆積し、所謂 Newfoundland Bank を形成し、魚族の一大娯集場を出現し、世界に於ける最も著しい水産業地を成り立たしめて居る事も考察の範圍から洩らしてはならない。

其他ブラジル沖には赤黒いブラジル海流が流れ、ラブラタ河口附近から東に折れて南アフリカ聯邦の西岸に達し、北上してベンゲエラ海(比較的寒流)をなして居るも

のがある。これはカラハリ沙漠の形成に重要な基礎をなして居る。

太平洋に於ける海流

□日本海流(黒潮)

北赤道海流がフィリピン群島の東方で北に折れ、臺灣の東方より琉球列島の兩側を進み、大隅海峡より東北方、表日本主要部の沿岸を洗つて遙かにカナダの西海岸まで去るものを「日本海流」又は黒潮と呼んで居る。

此の海流が日本の海岸を離れるのは大體に於て大吠岬附近であるが、夏季に於ては大洋より大陸に吹きつける季節風の爲めに、金華山沖附近までも暖流區域としてしまふ。

カナダの西岸に達した黒潮は、其の附近に莫大の雨量を絶えず供給しつゝ南下し、カリフォルニア海流(比較的寒流)となつて加州南部並びにメキシコ高原の乾燥地形成に原因となつて居る。カリフォルニア半島の先端附近から徐々に西南に方向を取り、

遂にもとの北赤道海流に合致して一大還流をかたち造つて居る。

此の系統の海流に、臺灣海峡より黄海に流れ入る黄海々流、朝鮮海峡より日本海に流れ入る對馬海流、カナダの海岸よりアラスカに向ふアラスカ海流等がある。

日本海流の速度は場所によつてそれぞれ異なるが、犬吠岬の沖合では毎時三海里乃至四海里である。此の海流に洗はれる南日本沿岸の各地は、鱒・鯉等の漁獲が甚だ盛んである。湘南地方が保養地として名高くなつて居るのも、此の黒潮の恩潮による事が多
5。

□日本近海の寒流

千島より北海道東岸並びに東北地方の東岸を洗ふ寒流は之れを千島海流と呼び、時に親潮と稱する事がある。其の出發點は不明であるが、ベーリング海峡よりカムチャツカ半島の東岸に沿つて南下する事だけは明かである。北海道の襟裳岬あたりまでは最もはつきりして居るが、以南は津輕海峡を通つて來る對馬海流の分派を交へて漸く

旗幟不鮮明となり。金華山沖と犬吠沖との間ですつかり暖流に混じてしまつて居る。

オホーツク海の東北部から流れ出る同名の寒流は、地形の關係でカムチャツカ海流・樺太海流・リマン海流の三つに分れて居る。

カムチャツカ海流 同半島の西岸を傳つて南下し、千島の東北部をぬけて太平洋に流れ出て居る。

樺太海流 Sakhalin Current 樺太の東海岸に沿つて南流し、西能登呂岬附近で其の行衛が不明になつて居る。

リマン海流 樺太の西岸を、黒龍江の水を合して南下する冷たい流れであつて、日本海の西部を朝鮮海峡の入口まで進み、其處で對馬暖流に出會ひ、之れに交つて北上し、日本海中に一つの環流を生じて居る。

之れ等の寒流が、鱒・鯉・鮭等の寒地性の魚族を樺太・北海道、及び東北地方の海岸の各所に分布せしめて盛んなる漁場を起させて居ることは人の知る處である。朝鮮咸鏡

道の明太魚なども同様に寒流に棲む魚類であるから、リマン海流と深い関係を有する筈である。

三 潮 汐

潮 汐

□潮汐の現象

海の表面が半日(正確に云ふと二分の一太陰日即ち十二時二十六分間)とか半日とかの周期で規則正しく上下する現象を潮汐 Tide と呼んで居る。段々に上昇し初めた海の表面は、一定時の後に最高に達し、それから漸次低くなつて行く。我等が海岸線を決し、若しくは海面として陸上に於ける諸の高さの基準に用ゐるのは此の高潮と低潮との中等潮位である。

満干は一日中に二回起る場所と四回起る場所がある。二回起る場合は之れを一日潮

と稱し、四回起る處は之れを半日潮と稱して居る。又一箇月に一度著しい高潮が來るのを一月潮と稱し、春分秋分の二期に更に著しく潮の上下があるのを半年潮と稱して居る。花見の頃に行はれる潮干狩は、此の半年潮を利用するのである。

海岸によつて半日潮を感じたり、一日潮しか見る事が出来なかつたりするのは、其の他の地形、殊に大洋に對する其の地形的位置の如何によるのである。

□潮汐の原因

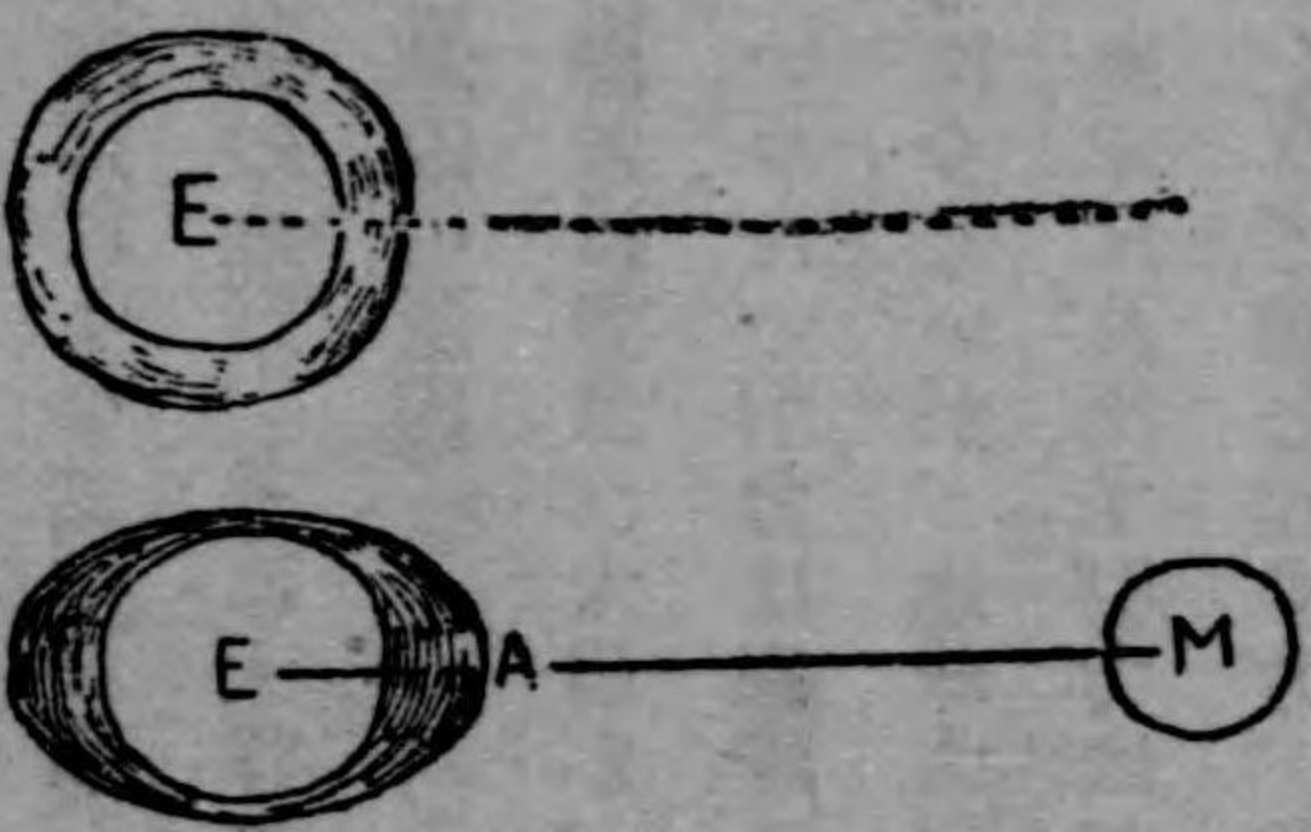
潮汐は月及び太陽が、地球の遠近兩點に及ぼす引力の關係で起るのである。

いつたい引力は距離の自乗に反比例して作用するものである。月は太陽に比して非常に少ないが、地球太陽の距離よりも、月地球の距離の方が四百分の一に相當するの

で地球に及ぼす引力は却つて太陽よりも大きく、其の二・三倍に達するのである。それで潮を起す力、即ち「生潮力」を考へるには、何を置いても先づ月を考へねばならぬ。月が海面の直上に来ると、液體の海水は固體の地球よりも多く引かれて此處

に高潮 High tide を起すのである。月に向ふこの高潮を特に「表潮」と稱する。

ところが之れと百八十度を隔てた裏面に於ては、液體の海水が固體の地球よりも遠い處にあるので、引かれる事も少なく、遠心力さへも働いて、月と反對の側に著しく取り残される結果、其處に又高潮を生ずる。これを裏潮と呼んで居る。



高潮が斯うして同時に地球表面上に常に二箇所生じて居るのである。そして、之れと九十度を隔てた地方は海水減退して干潮を生ずるのである。

月の此の作用を加へるに、太陽の引力を以てすると大潮を生じ、月と太陽とが地球に對しそれぞれ直角の方向に海水を引きつけると満干のあまり著しくない小潮を生ずる。つまりは月の引力と太陽の引力との和と差の問題である。

る。即ち $23+1=33$ と $23-1=13$ との比例で大潮・小潮の現象があると思へば大體間違ひは無い。

□潮升と潮時

潮の高まり方は場所によつて非常に差がある。大洋のまん中では一般に「潮升」が甚だ小で、小笠原の如きは僅かに〇・三米、サモア島で一米乃至二米に過ぎない。陸で著しく圍まれた内海に於ても潮升は微弱であつて、日本海の如きは〇・二米乃至〇・七米位に過ぎない。

然るに大洋を前に控えた廣い灣入の奥などは高潮の處が多く、九州の島原灣で五米内外、仁川灣では十米に達するので名高い。外國にはまだこれ以上の處がある。イングランドの西南ブリistol灣では一五・九米を算し、マゼラン海峡の中部に於ては二十米に達し、北米東岸のファンデー灣では實に二十一米三の數字を示して居る。月が南中してから其の地が高潮に達するまでに要する時間を潮時と稱する。此の潮

時は位置と地形とによつて處々皆ちがひがある。北海道の東岸より奥羽地方の東北岸に於ては六時内外であるが、東京灣に於ては八時内外、宮崎縣では九時位、東支那海南部では十時内外である。

□潮汐と人生

海岸地方の人にとつては潮汐に關する實陸を其の體驗に徴して熟知して居る。漁業家・船頭などの潮汐に關する知識は學理的は無いにしても可成り精しい者もあらう。曆の中から舊曆がどうしても削除されず、月齡と云つたやうな言葉で月の盈虚を知らせて居るのは、月其のものゝ丸さを知らせるのでなくて、潮汐に密接な關係があるから之れを示すのである。

潮汐を應用した生産業が多い中にも鹽田業、漁業などは其の著しいものであらう。朝鮮西海岸や、瀬戸内海沿岸に製鹽地の分布が多いのは、他に色々の理由もあるが、高潮に際し鹽田中の溝に潮が押し上げて製鹽作業の能率を増進し、干潮に際しては盛

んな乾燥(潮が遙かに退いて干出するから)が行はれる便宜が多いからである。曳網、釣魚等が潮時と關係する事が多いのは云ふまでも無い。

又、満干の差の甚だ大なる處では、港を營むに特別な構造を考案しなければならぬ。島原海の三池港や、仁川灣の仁川港などに見る開門式のドックは干潮に際しても入港船舶に對して荷役が充分に行はれる爲めには極めて必要な装置と云はねばならぬ。

潮 流

□潮流の事實

潮汐によつて生ずる海水の流れを潮流 Tidal Current と稱する。

潮流の速度は毎時三海里位から十海里に達する處がある。概して海峡などは潮流が急である。愛媛縣北部の來島海峡では四乃至六海里、下關では七乃至八海里、鳴門海峡に於ては最も急にして十哩の高速力即ち一秒間五・五米の速さに達して居る。

又此の潮流が三角江狀に開いた河口や灣入に進んだ場合、支那の錢塘江口に見るや

うな海嘯の現象を起す事がある。速力十乃至十二海里、高さ八米乃至十米の潮が、沖合より押し寄せて来るのは壯觀なものであらう。

フランスのセーヌ河口附近のマスカレー Mascaret も、ブラジルのアマゾン下流のポロカット Porocati (雷の水と云ふ意味) も、インドのガンジス河口のボア Bore も悉く潮流に起因した海嘯の一種である。

□潮流の利用

東京湾口の浦賀や、伊勢海の出口の鳥羽などは、それが港として發育した根底には「潮流」の問題が潜んで居ると考へる。即ち其の部分の海峡の潮の流れが急な時、これにさからつて進むよりも、潮の「なほる」のを待つて航行しようと云ふ考へが起るのは當然である。潮待ちする間、そうした海岸の屈曲部に船をとどめる。そこで港が発生する事になる。

瀬戸内海などにも此の種の港がたくさんにある。いつたい港とは「水門」であると

思ふ。撫養にしても明石にしても、宇野にしても尾道にしても、今治にしても高濱にしても下關にしても、皆な此の「水門」の標式的なものであると思ふ。

海峡乃至は瀬戸が交通上重要であるのは、航路を集約すると云ふ意味が云ふまでもなく第一であるが、「潮待ち」をしなければならぬ位置に「舟泊り」の港が出来、潮の都合によつて多くの帆船・小蒸汽船等が碇泊する場所となるので、其の重要意味を一層に加へると考へる。

河の出口に門洲があつて平素は船の出入に困難するが、満潮に際して起る潮流によつて容易に河口を進み得るのも其の恩恵の一つであらう。

四 波 浪

波 浪

□波浪は如何にして起るか

波浪 Wave は主として風によつて起る。それで微風は小波を生じ、暴風は大波を起すのである。

風が如何にして波を起すかと云ふに、それは水面に吹きつける壓力の爲めに、水の分子が一種の圓運動を起す事になる。其の運動は水面に直角な圓形を描く。そして水面にあつては直径の最も大きい圓を描いて運動する事が出来るが、段々下になると水分子同志の摩擦の爲めに運動が自由とならず、圓運動の圓の直径が減ずる道理である。

風の爲めに壓せられて起る運動である故に、風上の水分子が早く運動を起し、風下の水分子は運動が遅いので、波の高低が出来るのである。それで、波頂は次第に前進するが、水分子は丁度稻の穂が風になびいて一高一低するやうに、前方及び下方に其の運動を傳へるばかりで、水分子其のものは前進するものでは無_ス。

□波の各部の名稱

波の一つの高まりから次の高まりまでの長さを波長 Wave length と云つて居る。

此の間には一つの波谷 Trough があり、谷と波頂との距離が波の高さ Height である。尙も一つの波頂から次の波頂の来るまでの時間を波の周期 Period と稱する。

波の高さは大洋に於けるものは普通二乃至三米であるが、時には十米にも達するものがある。波長は波の高さに多くは比例するもので、長さが高さの二十倍乃至四十倍位が普通である。周期は二分乃至三分位であるが、小さな波になると十秒から十五秒位のものもある。

嘗て喜望峰沖に起つた巨大な浪は、其の波高二十米、波長は實に五百八十米を算したと云はれて居る。これが先づ浪のレコードであらう。

□磯浪ごうねり

波浪の水分子が前進しないと云つたのは沖合に於ての事で、海岸に近づく波は、其の圓運動が浅い海底に努げられて、其の上部のみ前進して前に倒れ、高く白い飛沫を生じ、「磯浪」を形成する。

磯浪が海岸に寄せ来る有様を見るのに、風向の如何に關らず次第に汀線に平行して進んで来る。これは波の圓運動が海底に出會つて充分に行はれなくなるので、波の進む方向に屈曲を生じ、同時に渚に波を打ち寄せる事になるのである。

遠隔の地に起つた暴風の爲めに起つた波が、非常に長い波長を以て進行して来るものを「うねり」又は「土用波」と云つて居る。波の形は峯が丸くなつて居て、高さは普通二米乃至三米位である。此の波の進行は普通の低氣壓の中心の移動よりは早い爲めに、暴風の豫報者として「土用波」が役立つ事がある。

津波

□津波ご其の原因

津波は波高・波長・速度の共に著しい大浪が突如として海岸地方を襲ふもので、大洋上に於ては割合に其の波の高さが著しくなくても、海岸に近づいて急に高さを増すのが普通である。

津波の原因には種々ある。海底の地震によつて起るのが其の一つで、明治二十九年三陸の海岸を侵したのがそれである。地震性の津波の波長が長く、従つて速度の早い事は一八七七年にペルーの海に起つた津波に就て次のやうな記録がある。

- ▽布哇島まで五七一〇海里を十四時間と四十五分で達した。(一秒一九九米の割合)
- ▽函館まで八七五〇海里を二十二時間後に感じた。(一秒三八一米の割合)
- ▽ニュージールランドのウエリントン港まで五六六〇海里を十八時間十五分で達した(一秒三〇六米の割合)

火山の爆發による津波もよく突發する。明治十六年のクラカトア島の大破裂の際には、ジャワ・スマトラの兩島に大きい津波を起して生靈四萬の犠牲者を出した。一八八一年には、印度のベンガル灣にも一大海底火山の爆發があつて、凄まじい津波を惹起した。

津波を引き起す今一つの原因は低氣壓である。低氣壓が深くなると大暴風雨を呼び

起すが、同時に低氣壓の接する海面の上に吸ひ上げて、低氣壓其のもの、進行と共に遂には海岸にも達し、潮を異常に高めて津波の現象を惹起するのである。此の際たまたま満潮時であるとか、風向が丁度陸に向つて居るやうな場合、いよく以て津波の害が激甚になるのである。明治三十五年に小田原の海岸を襲ふた津波は低氣壓によるものであつた。

□三陸津波の惨害

明治二十九年に起つた奥羽地方東岸の大津波は、其の最高の波高二十五米に達し、瞬時にして三萬人の生靈を奪ひ、數百の村落を破壊して其の惨情眼もあてられぬ有様であつた。就中岩手縣氣仙郡細浦に於ける被害は激甚で、リヤス式の灣奥の小山の上に、大破された帆船が押し上げられて居る挿繪がよく地理書などに出て居る。

此の地方は比較的新らしく海面下に沈んだ海底が多くて、リヤス式の灣などは、たいてい舊い時代の海岸平野であつたのである。それで灣入そのものは、あまり深くは

なう。

ところが沖合は世界に名だたる大深海で、其の海底の地層的變位が上層水面の大動搖を來たし、それが浅い灣入に達して見る見る波高を著しくし、以て右のやうな惨害を生ずるに至つたものであらう。

第五 大 氣

一 氣 温

氣温の異同

□太陽の直射熱と輻射熱

空中並びに地表に於て感ずる熱は主として太陽熱に基くのである。地熱及び他の天體の熱は、之れに影響することが極めて少ない。

ところが空氣は熱の不良導體であるから太陽熱は先づ地表を直射し、次に地面に接する空氣に傳はるものである。空氣中に細塵等が多くない限り、空氣は太陽によつて直接熱せられる事は殆んど無い位である。即ち太陽の直射熱によつては空氣は温められる事は殆んど少ないが、輻射熱によつて熱せられるのである。

それで、地面が太陽によつて熱のあてがわれる程度によつて空氣は温められもし、

冷却もするのである。地面が熱せられると否とは日射時間の長短による事は無論であるが、入射角度も亦根本的に關係して居るのである。太陽の直射する處は受熱が大で斜射する處は受熱が小である。日光の直射を受ける赤道地方が従つて氣温が高く、極端に斜射される(場合によつては全然太陽の光線を受けない)兩極地方が寒冷なのは此の事實に基くのである。

□三帯の區別

北緯二十三度半より南緯二十三度半まで緯度の幅で四十七度の間が熱帯と定められ北緯六十六度半・南緯六十六度半以上の高緯度の部分が北極若しくは南極と決せられて居るには理由がある。

地球自轉の軸、即ち地軸は、太陽と地球を二點として含む平面に對して直角よりは二十三度の傾きをなして居る。そして地球は一年間を周期として太陽のぐるりを廻つて居るので、熱帯の部分は一年中何れかの時期に於て必ず直射される事がある。又寒

帯と名づけられる部分は一年中何れかの時期に、必ず全然太陽に照らされない場合がある。斯うして、太陽に何時かは直射される部分をまとめて熱帯とし、いつかは全然照らされない部分を總括して寒帯としたと解して差支ないと思ふ。

ところが緯度による熱帯・温帯・寒帯の區別は云はゞ平面的區別である。山岳等については垂直的三帯が存する事を忘れてはならぬ。

地表から傳達される太陽熱は空高くなるに随つて其の傳播が少なく、且つ高所は空気が稀薄で保温力が減少する上に、多くは氣流がはげしいのでその温度は著しく低地面より寒冷である。凡そ五千米までは百米高まる毎に攝氏〇・四四度の比例で低下する。即ち熱帯の低濕地に於て氣温が二十五度であるとすると、其處から三千米を登つた高原上に於ては十一度・八と云ふ寒冷を感じる程の氣温になる譯である。南米のポリビヤ・ペルー・エクアドル等の都會が、多く高地に營まれて居る所以はこゝに存する。熱帯中にも垂直的に考へると其處には熱帯・温帯・寒帯の三帯が存するのである。

□雪線について

地面上若干の高さに達する時は夏尙ほ雪の消え處に達する。斯うした諸點を連ねる線を「雪線 Snow line」と稱する。雪線上の萬年雪は、遂には氷に變化し、氷河となつて徐々に溪谷さして下つて來ることがある。

雪線の高さは赤道地方に於て高く(約四千五百メートル)、寒帯地方に於て低いのは云ふまでも無い。北極海中のスビッツベルゲン島に於ては雪線を海面に於て見ると云はれて居る。

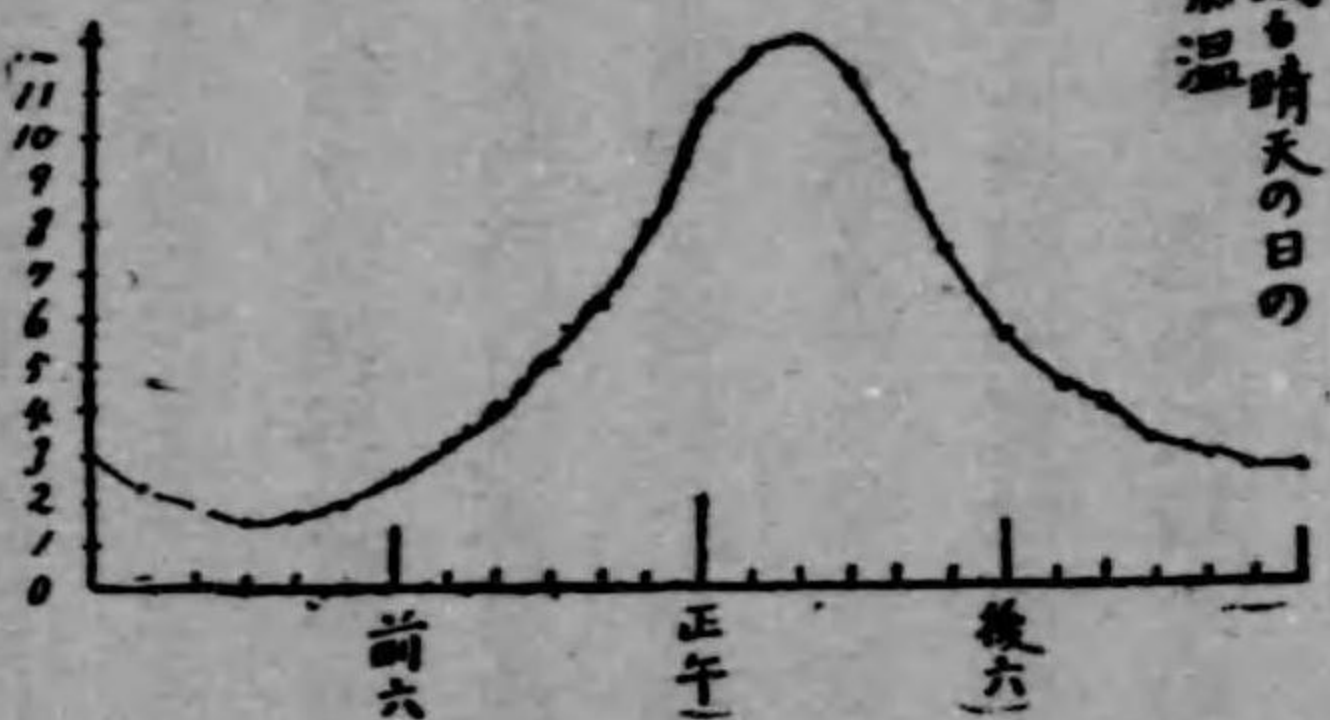
富士山頂の雪は萬年消えやらぬので有名であるが、あれは地形性の萬年雪で、本當に雪線に達して居るのでは無い。その他、我が國には雪線以上に達してゐる高山は一つも無い。

雪線の高さは同じ緯度の處でも、降水量の大小によつて異なるのが普通である。極端な一例としては、ヒマラヤ山脈の南側は海拔三千九百米位の高さに雪線があるが、其

の北側では海拔四千七百米に達しなければ雪線を見るを得ない。

□ 気温一日中の變化

或も晴天の日の
気温



地表に近い気温は日出時の直前に最も低くて午後二前後に最も高いのが普通である。

気温の最高に達した時は日射熱の降下と輻射熱の上昇とが相平衡する場合である。

気温一日中の變化の差額は次の様な条件下に行はれる。

- 1、水陸の分布 一地點より半径十キロ米の圓を描き、其の中にある水陸の面積を計ると、凡そ一日中の気温の較差をトする事が出来る。水の面積が大であれば気温の較差が少ない。

2、森林の多少 其の地の附近に森林面積が多いと気温の較差が減ぜられる事が多

い。高原上の乾燥地で、都會を見るのはよく森林地の間であるが、気温の較差が比較的森林によつて緩和されることは、都會生活に取つて極めて必要な事であらう。

3、不毛地の多少 附近が砂漠である處の気温の較差は大である。廣い砂漠を控えた濱邊の都會なども、他の條件は別として、砂濱だけでは較差が大にせられて居る譯である。

4、雲量の多少 雲は熱の放散を妨げる作用を著しくする性質がある。それで雲量の多い日は気温の較差が小である。

因みに測候所は午前二時・六時・十時に、午後には二時・六時・十時に気温の測定をやつてこれを記録して居る。一日中の平均気温を出すには、

「午前七時の気温と、午後二時の気温とに、午後九時の気温の二倍を加へて四で割る。」

方法が一般に行はれて居る。

□氣温一年中の變化

一年中に於ける氣温の變化は日射量の最大時期から凡そ一ヶ月(日本のやうな島國は二ヶ月)も後れて最高氣温を呈し、最低氣温も亦これに準ずるのを常とする。

一年中に於ける氣温の較差は、低緯度に於ては日射量の變化が少なくない爲めに著しく少ない。高緯度に赴くに從つて較差が大になる。海と陸とを比較する時は、海上は陸上よりも其の差が大である。それで海上の温度は陸上の氣温よりも冬分高く、夏に於て低い。

一年中の氣温變化の地理的分布の大要は之れを最も明瞭に高等小學地理書附圖第二十圖下のグラフ(一月と七月)で見ることが出来る。

氣温の分布は緯度の外に、風・海流・水陸の分布等にも基く事が大であるのを分布圖を見ることによつて想像される。等温線が大陸の兩端で屈曲して居るのは、海流と風

との然らしめて居る問題で、氣温の赤道及び氣温の極が、理論上の等温線と一致しないのは水陸分布の不規則に起因するのである。

世界に於ける氣温の分布

□世界の寒極と熱極

一月の温線圖を見るに、氣温の寒極はシベリヤのヴェルホヤンスク Verchojansk 附近にある。これは同地方が一つの盆地をなし、無風地域を作る爲めである。その他グリーンランド島北部、マツケンジー河の下流地方等が寒さが酷烈である。

一月に於ける氣温の赤道は南半球の大陸内に存し、アルゼンチンの中央、南阿及び濠洲にも分布し、攝氏四十五度乃至四十六度の高氣温を示す處が少なくない。

七月に於ける等温線圖によると、氣温の赤道は北緯三十度線附近に横はる沙漠不毛の地域にある。サハラ沙漠の如きは最も著しく、其の稍々北部のワルグラ Wargla に於ては攝氏五十三度の高温を測る事がある。

七月に於ける氣温の南極は南半球に存し、零下三十五度を示して居る。一般に南半球の等温線は、高緯度に陸地が少いために互に相並走して居る。

我が國に於ける氣温の分布

□我が國の氣温

大體に於て北より南に進むに従つて氣温の増加を見るのは云ふまでも無い。但し海と陸との間に起る氣温の變化は、緯度の差によつて起る氣温の變化よりも大であることが、日本附近の等温線を見ることによつて知られる。

冬の等温線圖を見ると、陸の中では等温線が屈曲し、其の屈曲が突出して西南に伸びて居る。之れに反して日本海上などでは等温線の屈曲部が東北に向つて居る。即ち冬に於ける温度の分布は陸に進むに従つて甚だしく、海に於ては左程でない事を示して居る。又冬の等温線について注意すべき事は、等温線の間隔が比較的狭い點である。即ち氣温の分布が冬分に於ては場所によつて著しく差異があることを示して居る。

夏の等温線と冬とは反對で、陸の突出線が東北に伸び、海の突出線が日本海などでは西南に張り出して居る。即ち大陸や島が、海に比して甚だ高温であるのを物語るものである。且つ日本海岸と太平洋岸とを比較すると、北日本に於ては日本海岸の方が一般に高温であるのがわかる。これは對馬海流と千島海流との影響と考へるべきであらう。南日本の部では海と陸との温度の差は著しくなくて、等温線が殆んど緯度に平行して東西に走つて居る。

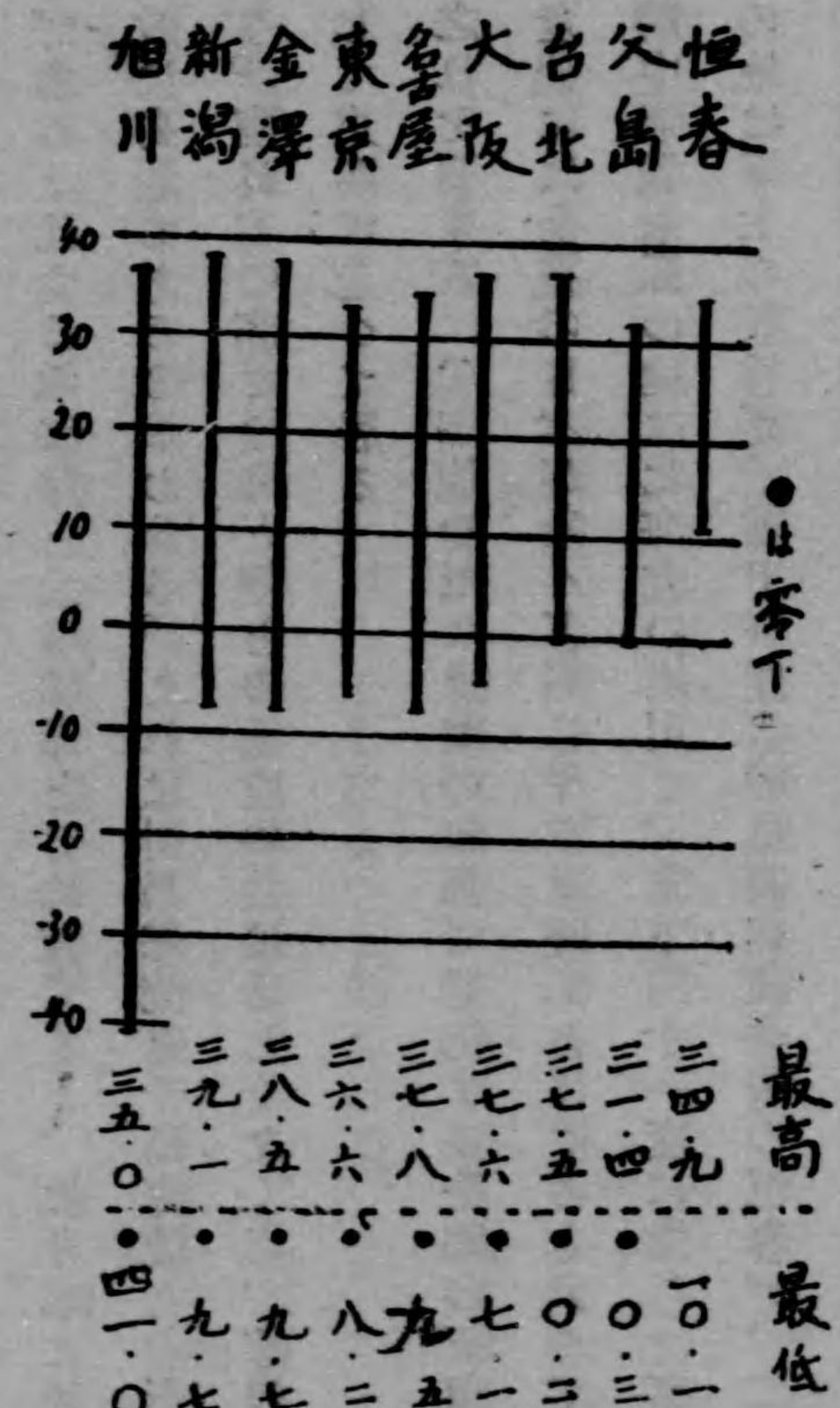
之れを要するに、海陸乃至は緯度の關係で變化する全國の氣温は、冬分に差が多くて夏分には全體の日本が殆んど同じやうな暖かさになると云つても過言で無からう。全國中氣温最低の地は北海道の旭川で、零下四十一度に達した事がある。年平均氣温低の地は樺太の敷香で、零下一度六、最高地は臺灣の恒春で、二十四度三である。けれども絶對高温の地は却つて本州並びに存し、嘗て元山に於ては三十九度六(明治三十九年七月)を示した事があつた。

因みに全國中敷地を選んで、其の気温の最高・最低のレコードを挿入して置いたから

参考せられ度い。

□日本は暖國か

寒國か



日本の気温は世界の同緯度の地に比し暖かいか、寒いかの問題について調べて見た。すると、一月の平均

気温は著しく低温であるのがわかった。

銚子のやうに海中に突出した場合にあつても同緯度の世界の地に比し平均四度位低

く、旭川などでは十度以上も低くなつて居る。朝鮮の元山や城津では世界の同緯度地より七度低く、京城では實に十二度も低くなつて居る。恒春ではやつと平均より一度高いが、臺北に行くともう平均以下二度に達する。

然るに暑い方では臺灣は世界の平均と差が無く、朝鮮にては何れも平均より稍々高し。日本内地の東南部・中部は平均より一度高く、東北部から北部では約三度ばかり高し。ところが北海道襟裳岬に於ては三度低く、北海道の内部で世界の平均と同じ位になつて居る。

要するに日本は同緯度の地に比較して冬分は著しく寒く、夏は稍々暖かいが、同じ位の温度である。で、平均してみると、日本は稍々寒い國であると云はなければならぬ。

二 風

風

□風はさうして起るか

大氣が其の高氣壓部から低氣壓部に向つて流動する時に、此の運動を名づけて「風」と稱する。然らば先決問題として高氣壓又は低氣壓は如何にして生ずるかを解決して置かねばならぬ。

一地點の氣壓は主として其の地の氣温の變化に隨伴するものである。氣温が昇ると大氣は膨脹して周圍に溢れ、爲めに低氣壓を生ずる。反對に氣温が下ると大氣は收縮して密度を増し、所謂高氣壓になるのである。又水蒸氣の含有量の多少も氣壓の高低に關係がある。水蒸氣は其の比重が空氣より軽い爲めに、之れが多量に含まれると其の部分の氣壓は減じて「低氣壓」となるのである。

空氣の平靜な状態に於ては海面上一寸平方毎に約二貫五百目の壓力を感じ、高さ約二尺五寸の水銀柱を支へることが出来るのである。これを一氣壓と稱し、普通に於て

はこれが高氣壓でもなければ低氣壓でも無い「あたり前」の氣壓として認められるのであるが、冬分などは一般に高氣壓が起るので、水銀柱二尺五寸(七百六十耗)の高さの氣壓は相當大風を發生せしむるに足る低氣壓ともなるのである。

風の強弱は、全く氣流の出發する場所と、吹き込む場所との距離及び壓力の差の大小によるのである。

□氣流の偏向性

風の方向が、其の長い進行の間に漸次變轉する現象を風の偏向、Deflectionと云つて居る。北半球に於ては右に偏向し、南半球に於て



は左に偏向する。

いつたい地球表面上にある物體(空氣も)は、始めから地球と共に自轉し、西より東に向つて非常なる速度で運動して居るのである。(尤も極に於ては自轉の運動は全然零である。)そこで、自轉運動の最も大なる赤道地方から高緯度に進む時は、赤道地方で有した西より東へ向ふ力が偏向力となつて顯はれるのである。反對に赤道に向ふ風は徐々に自轉の甚だしい部分へ向ふ爲めに赤道に進みながらも自轉する方向へは進みきれず、後ろに取り残されて北半球に於ては依然として右の偏向、南半球に於ては依然として左の偏向となるのである。

東西の方向に吹く風も亦同様の偏向を實際に示して居る。これは地球の自轉に基く遠心力に作用せられるのである。

□貿易風について

赤道地方は氣温が高いので比較的low氣壓の状態にある。それで之れを補はんが爲めに高緯度から赤道附近に風が進み入る。此の風は偏向力の爲めに北半球に於ては東北

風となり、南半球に於ては東南風となる。

此の風は絶えず吹いて居るので之れを恒信風と云ひ、又貿易風 Trade Wind の名で一層よく知られて居る。過去の帆船航海時代には、よく此の恒信風を利用してヨーロッパから南米等に赴いたので、貿易風の名が一般に用ゐられるやうになつた。

東北恒信風の吹く範圍は太陽の位置の變化によつて多少の變動があることは次の表に示す通りである。

	太平洋	大西洋
三月	北緯五度より二十五度迄	北緯三度より二十六度迄
九月	北緯十度より三十度迄	北緯十一度より三十五度迄

貿易風は赤道無風帯に至つて上昇氣流に變じ、やがて反對貿易風として北半球に於ては東北に、南半球に於ては東南に吹き進む。

貿易風が陸上の産業に關係を持つ最も代表的な處は布哇であらう。布哇の砂糖事業は貿易風の恩恵による事が多大である。

季節風

□季節風とはどんな風か

季節風 Monsoon は、大陸と大洋との間に交換される半年交代の定期風 (Periodic Winds) である。即ち夏・冬に於て、大陸大洋間に起る大規模の風で、其の起因は海陸に於ける氣壓の變化が平衡せぬ故である。従つて冬は陸風となり、夏は海風となる。此の風も亦、其の経路が長い爲めに偏向を示す事が大である。即ち太平洋よりアジア大陸に流れ入る氣流は東南風又は南風となり、印度洋よりアジア大陸に進むものは多く西南風となる。

季節風の最も發達する地方は日本・支那・印度等で、オーストラリヤにも著しく、南北兩米の東南部にもそれ／＼發育する處がある。

季節風の交代期は普通三・四月の頃と、八・九月の頃である。此の時期は大體に於て無定風の時期で、従つて大氣の均等作用を缺き、爲めに局部的氣壓の變化を生じ、多雨の天候を醸成する。我が國の春の「花曇り」や、秋にある「霖雨」の現象は季節風の交代期に於ける獨特のあらはれである。

□季節風と米作

季節風地帯は米作地帯であると云はれて居る。日本も、支那も印度も季節風の吹く處で、米の産額がそれ／＼莫大な處である。

どうして季節風の吹く處が米作地として發達するのか。それは次のやうに考察したらよいと思ふ。

稻が發育する爲めには先づ水田が營まねなければならぬ。水田經營の爲めには晩春から初夏にかけて莫大な降雨が必要である。稻の插秧後も降雨が多い事は其の發育に望ましい事である。稻に最も水の必要な時に、引き續いて水を與へるに與

つて力のあるのが此の季節風(夏の)である。

然るに稻が開花してから結實し、いよいよ收穫される秋になるまでには、夏分の季節風(海風)はすつかり停止してしまひ、そろ／＼と大陸から乾いた冬の季節風を送りはじめる。そして比較的晴天のつゞく秋の野で、收穫作業が滞りなく完了せられるのである。

近頃テキサス州やルイジアナ州・アラバマ州等に米の産額が相當あるやうになり、ブラジルの海岸地方にも我が移民の手によつて盛んに米作が勤まれるやうになつた根據は其の部分に流行して居る季節風にあると考へ度い。

風力の階級

□風の等級

風力の弱い軟風よりも尙ほ微弱な風があり得るわけである。何となれば軟風は普通一秒間一米五以上三米五まで進む氣流を稱するからである。但し一秒間一米位の氣流

は、殆んど吾人に風としての感覺を與へず、煙突からの煙も直上する位であるから、軟風以下の氣流を無風(Calm)と呼んで居る。嚴密に云へば絶對(一瞬時にしても)の無風と云ふものはあり得ない譯である。

軟風以上を六つの階級に分つて表解して見やう。

階級	名 稱	一秒間の速度	摘 要
1	軟風 Light Wind	一・五—三・五米	煙が直上する
2	和風 Moderate Wind	三・五—六・〇米	樹の葉を動かす
3	疾風 Strong Wind	六—一〇米	樹の枝を動かす
4	強風 Fresh Gale	一〇—一五米	大きい樹の枝を動かす
5	烈風 Strong Gale	一五—二九米	大きい樹の幹を動かす
6	颶風 Hurricane	二九米以上	樹を倒し家を破壊する

我が國で觀測した颶風の最も甚だしいものは、明治三十五年九月二十八日に筑波山上に襲來した暴風で、一秒間の速度百二十米に及んだ。

海風・陸風

□海風と陸風

一日中に於ける氣温が、海岸の地と沿岸の海とに於て異なる爲めに起る風で、季節風の小規模なものと思れば間違ひがない。海岸に直角に風が往來し、海岸線の兩側に先づ十里位の風が起るのである。晝間は陸の方が暖まるから海風を生じ、夜間は陸の方が一層冷えるから低氣壓は却つて海上に發生し、陸風が海に向つて流れ入る。

海風・陸風の最もよく發達するのは熱帶地方で、温帶地方は之れに次いで居る。

海風は通常午前九時頃から吹き初め日没前に至つて全く止む。陸風は通常日没後一二時間で起り、日出後に漸く消滅する。

海風・陸風のために、海岸地方の氣候が和らげられる程度は著しいものがある。

山間に行くときよく山風と谷風の現象が見られる。これも海風・陸風と同じやうに一晝夜の間に変化する風で、晝間は谷より山上に吹き上げ、夜間は山上より谷に吹き下ろすのである。前者を谷風と呼び、後者を山風と稱する。

□朝風と夕風

陸から海の方へ夜もすがら吹きこんで居たそよ風が、日出後しばらくすると全く止んで無風となつてしまふ。これを朝風と稱する。又晝間颯々と吹いて居た海風が、夕ざり來て漸次消滅し、これ亦無風状態になり、夕風の現象を惹き起す。

朝風・夕風は要するに水陸に於ける温度の平均した場合、氣壓が殆んど同様になつて、風が吹かうにも吹き様のなくなる結果である。

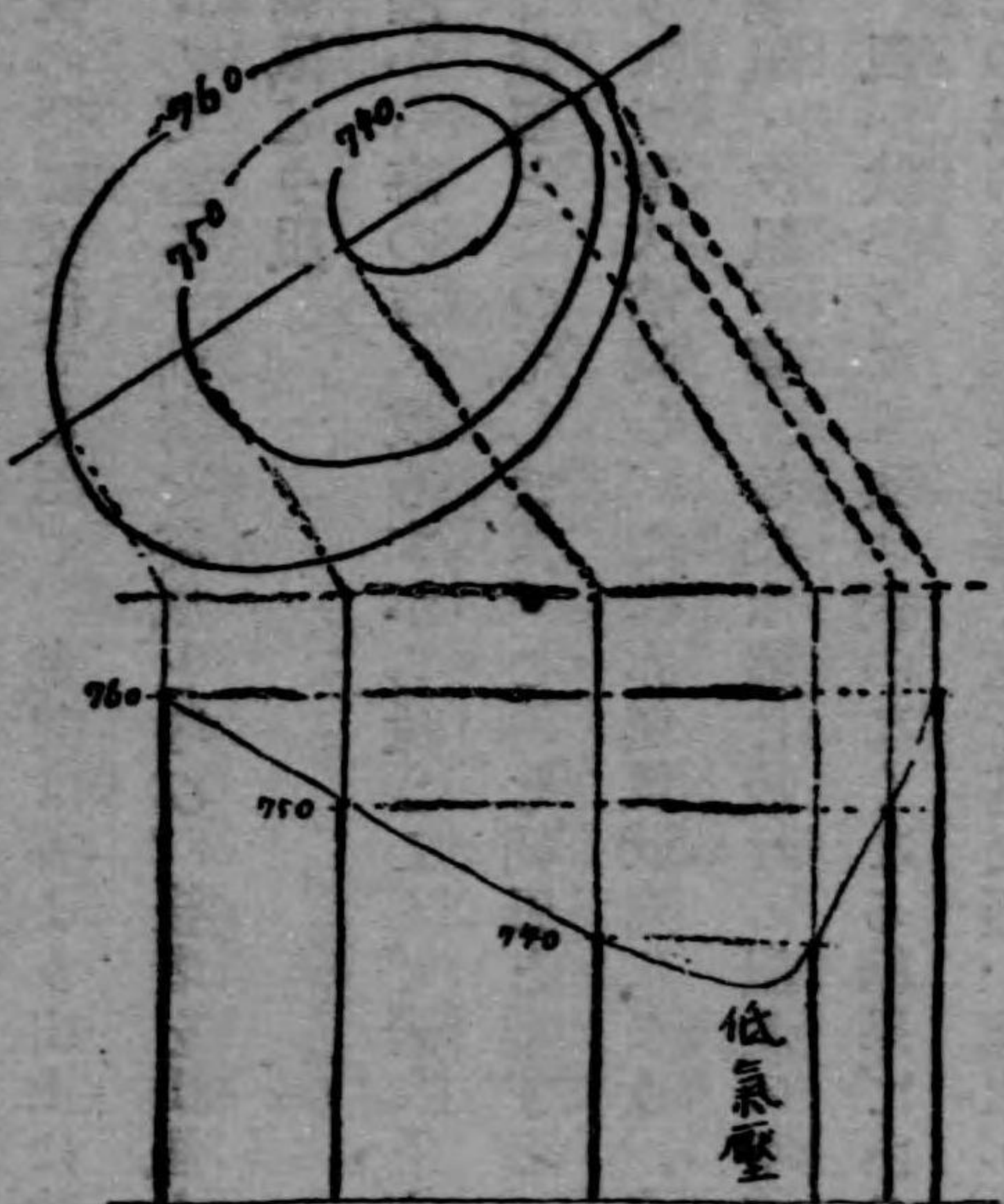
此の風の現象が長く續く處と甚だ短い處とがある。朝風は長い方が漁業等に有利であらうが、夕風の長いのは、夏分などは大變に迷惑である。汗だく／＼になつて團扇片手に夕涼みをしながら、風の無いのか、こつ様な事は夕風の長い地方にはよくある。

夕風の長いのはきつと陸に水分の多い處である。水田が廣い平野の海岸であるとか、森林や沼澤地の多い海岸地方は例外なしに夕風・朝風が長い。

我が國の暴風

□颱風について

颱風 Typhoon はフィリピン群島・支那東海岸・日本等を襲ふ暴風で、之れを熱帶旋風又は熱源低氣壓として分類する事がある。
颱風の發生するのは、マリアナ列島・カロリン諸島・フィリピン群島に屬する島々である事が多い。此の附



近の島々には熱源低氣壓を發生せしめるに好都合の事情が數々ある。

- 1、大洋にとりまかれた孤島は周圍の海よりも比熱が大で、日中低氣壓を起すのに充分である。
- 2、海上の大氣が濕潤で、島の上の低氣壓を充たす事によつて水蒸氣を豊富に與へ、低氣壓部をして一層甚だしい低氣壓たらしめる。
- 3、夏季を中心として太陽が直上に來て、赤道無風帯が起こり、低氣壓の深いものを生ぜしめるに好都合である。
- 4、赤道直下にないので、氣流をして偏向せしめ、以て渦卷を起さしめるに都合がよ。

颱風は發生當時に於ては其の渦卷の直径もさまで大きいものでは無いが、漸次移動して支那及び日本を襲ふ頃には、直径二百里内外の大きな旋回氣流となつて居るのが普通である。

□低氣壓の中心が移動する理由

熱帯旋風が其の中心を漸次移動する理由は、低気圧の中心部を狙つて流入する湿潤なる大気が、順次新らしい旋風の中心を生じ、遂に中心の移轉を來す爲めである。

今カロリン諸島上の一つの島に發生した熱源低気圧を考へて見る。此の低気圧に流れ入る氣流の分量は南方のものよりも北方のものの方が多し。南方は赤道直下附近であるから比較的low気圧(島の上のlow気圧よりは幾分か高気圧ではあるが)である。然るに諸島北方の空氣は相當に高気圧であると共に南方の空氣にまけぬ程の湿潤さである。

low気圧の中心に對して流れ入る空氣の量は、右の事情によつて北方のものが量が多い。そしてその大量の移動空氣は、北半球に於ける風の偏向力によつて右に偏向し、島上のlow気圧の西側から之に流れ入る事になり、其の流入の方面に雨を降らせ、水蒸氣の莫大量をも供給する故に新たなるlow気圧を發生するのである。

夏季を中心に、北太平洋上には常に有力な一大高気圧があつて、南洋の島の上に發

生したlow気圧は、此の高気圧より大氣の割愛を受けつゝ、其のlow気圧の中心を移動せしめ、恰かも北太平洋上の高気圧の周邊を廻る如く、初めは西北に進み、ついで東北に折れ、其の間に臺灣、九州、四國、本州等を襲つてオホーツク海又は北海道東方の太平洋上に至つて消失するのである。

□二百十日前後の暴風

二百十日、二百二十日は暴風のシーズンとして我が國では恐れられて居る。二百十日前後に吹きすさぶ猛烈な風もやはり颱風にちがひ無い。

二百十日前後に何故にさまつた様に颱風が日本を襲ふかについては決定的の説明がされて居ないやうであるが、其の時期が夏の季節風と冬の季節風との交代期であつて、日本列島附近の空氣は至つて平靜であるから、熱源low気圧の發生並びに進行に、極めて好都合であるのに依るのであらう。

颱風は日本内地に來つては米作に激甚な被害を與へるが、南洋の島々にあつても將

に成熟せんとする椰子の實を吹き落とし、又は根本より椰子樹を吹き倒してしまふので土人に非常に恐れられて居る。

□梅雨の現象について

五六月頃我が國に來襲する梅雨は、夏分の季節風と協力して稻の植付を完了せしめ、其の他一般の農林業に好影響を與へる有用な雨であるが、之れも部類分けをすると一種の暴風であると思ふ。

梅雨は楊子江上流の四川盆地や湖廣盆地(漢口や長沙附近の平野)に起つた一種の熱源低氣壓が東漸し、北太平洋上に存する高氣壓の爲めに前進も出來ず、それかと云つて勿論退却も出來ないで我が内地の略々上空に停滞し、周圍より濕潤な空氣を呼んで盛んに雨を降らせる現象を云ふのである。楊子江の中流上流に五六月頃低氣壓を生ずるのは、其の季節に其の地域が比較的尤もよく熱せられるからである。六月には太陽は北回歸線の上を直射するが、楊子江流域は北回歸線を北に去る僅かの距離にある。

斯うして發生した低氣壓が東に進む理由は、低氣壓に進み入る大氣が、南よりするものが濕潤で、風の偏向性も加はつて低氣壓の東側へ東側へと新たな低氣壓が生ずる事になるからである。

梅雨は季節風によつてはあまり恵まれぬ瀬戸内海沿岸地方並びに裏日本の各平野に對し豊富な降雨を與へ、其の地方の稻の植付に貢獻する事が多大である。

□冬季の暴風

熱源低氣壓に對して動源低氣壓と名づけられるものがある。冬を中心に大陸から進み來る旋風であるからこれを「大陸旋風」とも稱する。

動源低氣壓は其の名稱が示して居るやうに、大氣の大規模の運動に伴ふ渦動であつて、冬期に於て赤道附近と極地との氣溫の差が大なる時、海陸山野の複雑した北半球の中緯度の地に起る暴風である。

日本を襲ふものは多くは滿洲の西部やシベリヤのバイカル湖附近に發生したもので

ある。此の旋風が東遷するのは主として偏西風と稱する一種の恒信風に伴はれるによると云はれて居る。

偏西風とは極地の低気圧部を補はんが爲め、低緯度の地から之れに向ふ風が、其の長い進行の道程に於て著しく偏向し、西南風となつて寒帯附近に流れ入るもの、名稱である。

此の動源低気圧が一度日本海又は黄海のやうな海上に出ると、水蒸氣の存在によつて俄かに深い低気圧となり、裏日本一帯に肌をつんざくやうな大陸の寒風を感ぜさせる。

三 雨

□大氣中の水分

大氣中に含まれる水分の量を云ひあらはす術語に二種類ある。一は水分の絶対値に

よつて示すもので、之れを濕量 Absolute Humidity と呼び、他は大氣に含まれ得べき最大の水蒸氣量と、現在の水蒸氣量とを比較的に示したもので、之れを濕度 Relative Humidity と稱して居る。

兩者のうち、氣候現象の要素として主要なものは濕度である。何となれば降雨・降雪・結露の如きは皆大氣が水蒸氣を以て飽和した時に起る現象であるからである。

アフリカのリビヤ沙漠中にクルフラと呼ばれるオアシスがある。此の地の八月後半の平均濕量は八・三耗で、九月に於けるものは十一耗である。これは丁度東京市の十月・十一月及び五月頃の濕量で、兩者の間に濕度の相違の著しい事は、實に大氣が水蒸氣を含蓄し得る能力が、其の溫度に従つて變化するによるものである。

□雲の種類と雲貴

濕度が百以上になると、水蒸氣はもはや氣體の形を保つことを得ず、大氣中に漂ふ微細な塵埃等を中心にして凝結して液體又は固體の形をとる。このうちで上空に浮ぶ

ものを雲と稱し、地表を蓋ふものを霧若しくは霞と名づける。

雲は其の形状・高さ等によつて種々の名稱で呼ばれて居る。高さによつては上層雲(平均九千米)・中層雲(三千米乃至七千米位)・下層雲(二千米内外)の三種類に分つこともあるが、普通は層雲・積雲・亂雲・卷雲等に分類する事が行はれて居る。

層雲 Stratus 二つの異つた飽和に近い氣層の混合によつて生ずるもので、時には満天を蓋ふ場合がある。けれども雨を降らす事は稀である。

積雲 Cumulus 夏の日に上昇氣流が斷熱的に膨脹して生ずる雲で、俗に「雲の峯」と呼ばれるものがこれである。積雲の下には必ず低氣壓(濃厚か浅いかは別として)があると思へば間違ひは無さ。

亂雲 Nimbus 形状が全く不規則で、動搖が甚だしく、雨を伴ふことが多いので、雨雲とも稱せられる。比較的地表に近く發生する。低氣壓襲來の際に先づこの雨雲の發生を見ることが多い。

卷雲 Cirrus 高さ一萬米内外にあるもので、白色羽毛の状をなし、美しく輝いて青空に浮んで居る事が多い。之れを構成するものは微細な氷片である。上昇氣流が盛んに上騰する結果發生するもので、従つてはげしい低氣壓の來襲を豫報する事がしばしばある。

其の他青空高く帶狀・幕狀・鱗狀等の白雲の浮んで居るのをよく見るが、之等は層卷雲又は積卷雲と稱せられるもので、高さは二三千米から七千米位までが多い。二種の氣層の混合によつて生ずるのは層雲と同様である。

雲が満天を覆ふ時は雲量 Cloudness を一〇〇とし、快晴の時は之れを〇とする。雲量の多少は其の地の日射量に直接關係する事は勿論で、氣候上重要な要素となつて居る。雲量八〇以上を曇天とし、二〇以下を晴天として扱つて居る。

□降水量の計り方

降水量を計るには「雨量計」を以てする。雨量計は直徑二センチの圓筒内に、水受

器を二重にして水の溢れ落ちないやうに構造されて居る。雨量計の置き場所は芝を植ゑた庭園内がよい。これは雨水が跳ね込まぬ爲めの用意である。地面になるべく近く装置する爲めに半ば以上圓筒を土中に埋めるのが普通である。風的作用を減ずる爲めには斯うする必要がある。

毎日一回午前九時頃に圓筒内の容器を出して、別に用意せられた度盛の入つたシリンダーに移し、其の米を讀むのである。一日中に一耗以下を輕雨と稱し、一・五―五耗までを中級雨と稱し、五・一―一〇耗までを大雨とし、一〇・一耗以上を豪雨と呼んで居る。一ミリ米の雨量は一坪について一升八合餘にあたる計算である。

世界の雨量

□雨量の分布

雨量の分布は一般に低緯度の地に多く、高緯度の地に少ない。

熱帯地方に於て貿易風の遠く内地に吹き入り得る地形をなして居る處は、最も多量

の雨量を示す場所であつて、アマゾン河の低地、熱帯西アフリカの海岸、東印度諸島の如き皆この例である。

世界に於て最も雨量に富む地方はヒマラヤ山脈の南側アッサム州地方で、年額一萬二千耗に及ぶところがある。而も其のうちの約一萬耗の雨量は、五月から十月までに吹き来る夏の季節風に伴はれるものである。之れに反しヒマラヤを越えて北側では、雨量年額僅かに二三十耗に過ぎない。山脈の存在が雨量の分布に如何に密接な關係を持つか知られる。

□赤道附近の常雨帯

南北半球の高緯度の地から海面を傳つて赤道直下附近に流れこむ氣流は、所謂「無風帯」を形成し、多温の空氣が上騰冷却して莫大量の降水を與へる。斯うした豪雨は年中引き續いて起つて居るので之れを「常雨帯」と呼んで居る。東印度諸島や印度洋西北部の諸群島、コンゴ河流域、西印度諸島等が常雨帯の地方として知られて居る。

常雨帯の地方は一面に於て熱地であるから水量の豊富と相まつて植物の生育を盛ならしめる働が著しい。其の方面の大森林の存在や、甘蔗が伸びくと生育して世界に於ける重要な砂糖産地を開いて居る事、規那・香料等の熱帯性の植物を繁茂せしめる等人生に交渉を有する事柄が甚だ多い。

我が國の雨量

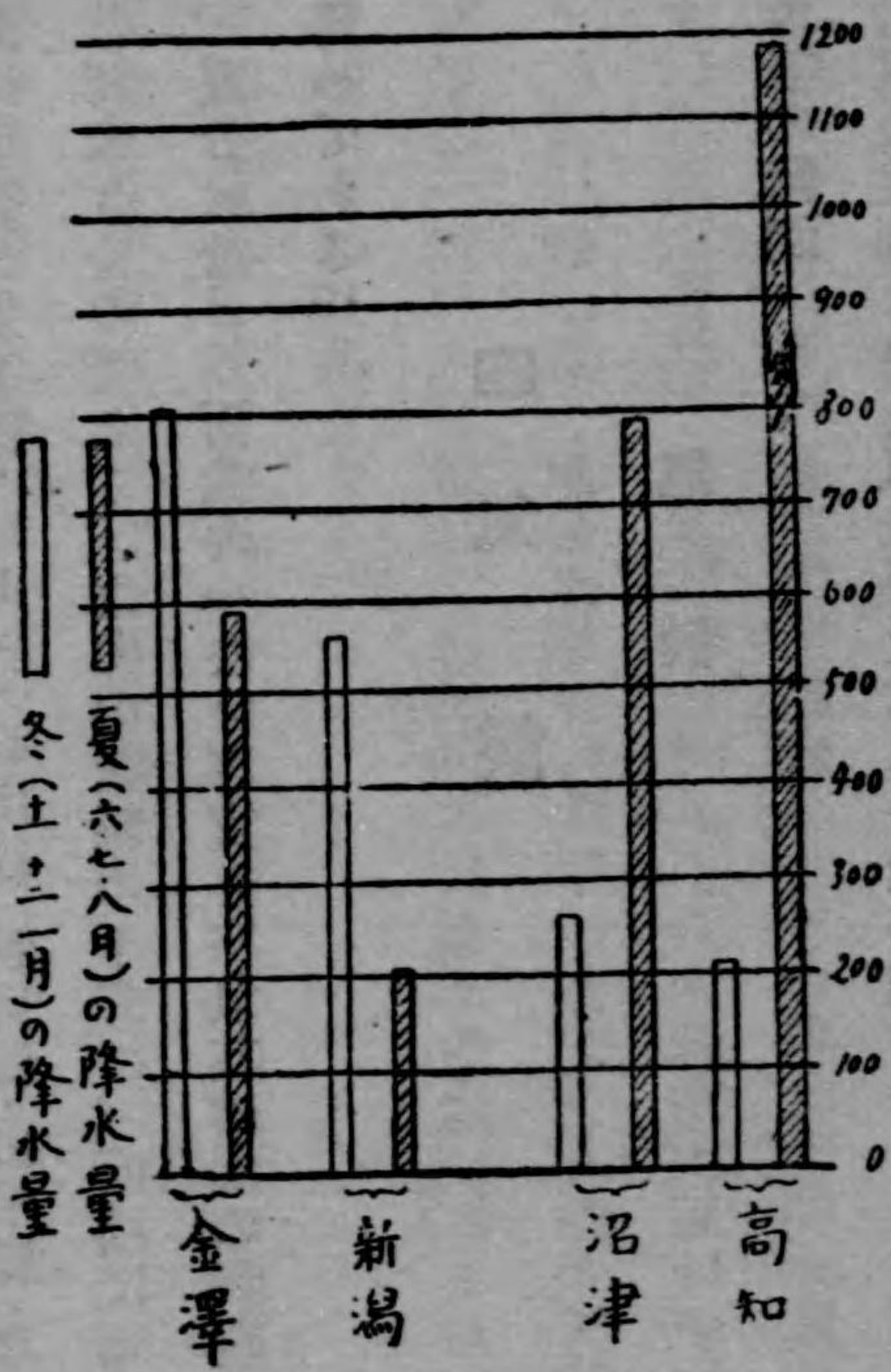
□雨量の多い地方少ない地方

我が國で全年を通じて降水量の多い地方は臺灣・琉球列島・薩南諸島・九州南部・四國南部・紀伊半島南部・赤石山脈の東南地域一帯・伊豆諸島並びに北陸地方等である。其の最大の記録をとつめたのは臺灣暖々街附近の七千三百五十耗である。

一般に地形が高峻で、四圍の海上より來る水蒸氣を受けて之れを凝結せしめ易いので、其の他の部分に於ても雨量は決して少ない方では無い。

比較的雨量の少ない地方としては、北海道・樺太・朝鮮の北部等で、本州にあつては

大山脈に圍まれたやうな地形の長野地方が割合に少ない。瀬戸内海斜面が之れについて少ないが、それでも尙ほ一千二百耗内外の雨量を有して居る。



□表日本と裏日本との雨量

表日本は、夏季の季節風の雨量に恵まれることが多く、裏日本は冬季の季節風による雨雪量が多いので名高。

冬分の表日本は比較的晴天が多いが、夏分の裏日本

は焼きつける程の暑さに達する事が多い。夏分太平洋よりアジア大陸に吹き越して行く風が、表日本の方には多量の雨を降り注ぐが、一度山脈を越えて北すると、空気は

乾燥すると共に潜熱を得て攝氏二三度乃至五六度位も上昇するのである。水蒸氣が凝固する爲めには温熱を空氣に與へて自から冷却しなければならぬ道理である。

此の事實が新潟縣・富山縣・石川縣・秋田縣・山形縣・島根縣等の米作に關係を持つ事は甚だ大きいのである。之等の諸縣の平野は、面積に比較して多額の米穀を産するのは、夏分に於ける雨量の少ない事實と空氣其のものが暖かくて稻の結實に良結果を來す爲めである。

四 氣 候

氣 候

□天氣の觀測

天氣の觀測は中央氣象臺並びに全國各測候所の任務であるが、多少空氣について學び得た場合は、次のやうな斷定は誰にも容易に出來ると考へる。

- 1、高氣壓の時は天晴れ、風はやむ。
 - 2、海風・陸風等が規則的に行はれるのは晴天のつゞく證據である。
 - 3、夜間露の多い時は晴天繼續し、露の置かぬ時は風雨がやつて來る。
 - 4、卷雲・卷層雲・積卷雲等があらはれる時は天氣がやがて悪くなる。
 - 5、霞が地上低い處に出來て、すぐに消失するのは天氣良好の前兆である。
- 其の他一般の人に信ぜられて居る氣象上の云ひ來りは、
量の出る時は雨となる。
夕焼の黄色は晴天の兆、少しく黒ずんだのは雨の兆である。
朝焼色の紫がかつたのは雨の兆である。
等色々ある。

測候所に斯うした常識をどの様につかつて居るかそれは解らぬが、中央氣象臺では全國の測候所並びに神戸の海洋氣象臺から午前六時・正午・午後六時に氣温・氣壓・晴

曇・風雨等を打電せしめ、これに基いて天気圖を作り、氣象學上の種々の法則を用ひて明日乃至近い將來の天氣を推測して天気豫報を發するのである。天候險惡の兆ある地方には特に警報を發する事になつて居る。

□氣候の決定

絶えず天氣の變化するのを觀察し、數年間の平均を求める時は某地の氣候を定める事が出来る。

氣候は地球の公轉のために生ずる四季の變化によつても分けられるが、水陸分布の不規則なことに、之れに隨伴する各種の現象によつて其の變化が愈々複雑化される事は云ふまでもない。

貿易風帶の海上では氣候が最も單調で、各月乃至は各年の溫度の變化が極めて少なり。赤道を距る少許の處にあつては、既に季節的變化を生じ、地方によつては一年二回の乾・濕二氣候を見る事がある。

溫帶に入ると南半球の大部分は海洋で、溫度の變化は夏冬を通じて最も少ないが、北半球では水陸の分布まちまちで、氣候の典型が處によつて非常にちがつて居る。北緯五十度前後に位するヨーロッパ諸國は溫和で文明發達の中心となつて居るが、之れと同緯度にあるアジャの中部は寒暑の變化甚だしく、人口の密度も極めてまばらである。

我が國の氣候

□我が國の氣候

日本は臺灣南部が熱帶に屬し、北は北緯五十度よりは少しく北につき出て居る。其の間長く南北に横はる列島であるから、氣候の變化著しく、其の上にアジャ大陸が比較的接近して存在し、大陸的氣候の影響を蒙る事も少なくない。

又北緯三十度・四十度と云ふ部分は、地球上最も氣象の變化に富む處で、此の點に於ても日本は其の氣候の複雑性である事に根據を有つて居る。

面積の割合に著しく高峻な山岳を有する事も亦氣候状態の變化の増大に關係が多いものであらねばならぬ。

しかし乍ら朝鮮半島を除いては四面海によつて圍まれる國土である。其處に溫和な海洋性氣候の主として流行するのは、勿論當然な事であると見なければならぬ。

□各地方の氣候

臺灣、臺灣の南部は殆んど寒さと云ふものを感じない。四月に於ては平均氣温二十三度で、夏中持續して十月に及び、依然として二十三度ばかりを示して居る。暑い時は二十五度にもなるが、それ以上に及ぶことはごくたま／＼の事である。北部では霜が珍らしく降り、高い山には雪もチラ／＼降る事もあるが、全體として「常夏」の國である。雨量は北部臺灣では冬分に多いが、西南部では颱風・季節風の影響を受けて夏分に多い。臺灣西南部の雨の大部分は颱風に齎されると考へてよい程である。

九州、東南海岸は海洋性の氣候で、常に雨が多く氣温も高い。それで熱帯性の植物が繁茂して居る土地(宮崎縣青島等)がある。内地の熊本などは寒暑共にはげしい大陸的氣候である。九州東北の瀬戸内海沿岸地は瀬戸内型で、雨が少なく風の方向も一定しない。薩南諸島方面は全く海洋的氣候で、雨が甚だ多く氣温の變化が少ない。附近はしば／＼颱風の通過する處で、其の被害が多い。

四國と中國、四國山脈の南と北とで氣候が全く違つて居る。北は瀬戸内型で、南は太平洋よりの雨を受け、氣温も高く、米は年二回の收穫がある部分がある。中國も亦其の山脈によつて南と北とに氣候の差異が著しい。日本海岸は雨が多く冬分西北の風の吹く事が多いが、瀬戸内海の方は著しい風の吹きすさぶ事も少なく雨が甚だ少ない。但し温度は日本海沿岸の方が溫暖である。これは對馬海流の影響であらう。瀬戸内海方面は稍々大陸的で、寒暑の差が大きい。雪は山陰山陽大差なく十二月頃から降り始める。

近畿 紀伊半島の大部は四國の南半と同じやうに雨多く温度が高い。大阪・神戸・奈良等は瀬戸内タイプの柔らかない氣候であるが、京都は稍々日本海式が交つて居るやうである。此の地方も雪は十二月から降り始まる。

中部地方 日本海流(黒潮)の爲めに、夏分降水量が多く、各種の農産物に好影響を與へて居る。但し温度は日本海流によつては、あまり著しい影響を與へる事は無し。それは、夏分内地に低氣壓が起る爲めに海風頻りに吹き來り、冬分は反對にシベリヤ方面より吹き來る寒風が黒潮を南に遠ざけるので陸上の氣温を緩和する働きをなさぬからである。長野縣・山梨縣等の山間の盆地は雨の少ない特別な氣候區を作つて居る。

關東地方 北部の山地は中部地方と大同小異である。たゞ關東平野は獨特の氣候區を作つて居る。即ち越後山脈・三國山脈等を越して來た冬分の風は、「雨無風」「赤城風」「三國風」等の名稱を持つ暖かい風で、甚だ乾燥して居る。これはイタリヤ・

フランス等によくあるフェーン Foehn によく似て居る。然るにこれと反對に筑波風は寒い風の代名詞となつて居る程である。これは山上の寒い空氣が、たまく山下に發生した低氣壓部を充すために下るもので、西洋のボラ Bora に相當する。東北地方 七・八・九月頃に東南又は西南の風が吹く。これらの風と東北風との交代する時期は天氣が悪化する事が多い。雨量は相當に少なく、東北の海岸、殊に青森縣の東海岸あたりに殊に少なく、會津盆地にも亦少ない。

北海道と樺太 氣温は其の西南部に高い。旭川・帶廣等は夏暑く冬甚だ寒冷である。風は西北風が著しく強い。梅雨の現象は殆んど見られない。雪は十月の末から平地に之れを見る。海岸一帯は濃霧が多く、函青連絡船などがこれになやまされる事が多い。樺太は十一月から三月頃まで氣温が零下以下である。西海岸よりも東海岸が平均二度ばかり暖かいのは海流の影響であらう。

朝鮮 南部は先づ日本中部、殊に北陸地方の海岸の氣候に酷似して居る。中部朝鮮

は長野縣や其の西側の濃飛高原に類似し、北部朝鮮は我が北海道の氣候に似た處が多い。

第六 生物の分布

生物の分布

□水中に於ける生物の分布

生物は自から移住し、若くは他物によつて傳播せられるけれども、地形或は氣候によつて其の傳播を妨げられ、又は生活状態を變じ、種々の淘汰を経て各其の生存に適する所に繁殖してゐる。されば生物の分布は各地一様でない。

水中の生物は水の性質深淺等によつて其の種類を異にする。例へば淡水植物中でも池沼に沈んでゐるものにクロモ、水上に浮んでゐるものにジュンサイ、水上に挺出してゐるものに蓮がある。鹽分を含んだ海水中には海藻よく繁殖し、その淺所には乾苔アライソリの如き緑藻生じ、稍深い所には昆布・羊栖菜ヒツキの如き褐藻生じ、最も深い所には石花菜アヲノリの如き紅藻が出来る。

又動物は水中に鰓で呼吸するものもあり、空中に気管及び肺で呼吸するものがゐる。又沿岸の海底には有孔虫・海綿を初め、多くの種類があるが、深海底には六放海綿神樂鮫科等を見る。特に深海に棲息する魚類には奇妙なものがある。例へばメヌケは光線不十分なる深海にゐるから眼太く眼球は外部に突出してゐる。又目の附近に発光器を具へてゐる魚類もある。盲魚は常に暗黒な所にゐるから眼を失つてゐる。

□陸上の生物・乾濕及び大陸と島嶼

陸上の生物も地勢風土等によつて其の分布は一様でない。熱帯地方の海岸にはココ椰子の林が多く、潮汐満干の境界にはマングローブ樹の密林がある。これから兩極地方に進むに随ひ、又低地から高地に上るに随つて樟櫟の如き常緑潤葉樹、縦・杉の如き常緑針葉樹林あり、次に山毛櫨・白樺の如き落葉潤葉樹林、落葉松の如き落葉針葉樹林があり、遂に偃松の如き灌木林となる。

動物も熱帯地方には象・河馬・犀・麒麟の如き巨獸、また毒蛇・鱷魚等が棲み、寒帯地

方には白熊・白狐・海豹等が棲む。

又乾燥地と濕潤地との間にも生物を異にする。例へば溪間の濕地・樹蔭等には蘭類・羊齒類あり、水際には水芹がある。然るに乾燥地には石蓮華・仙人掌・マンナ地衣等がある。

次に大陸と島嶼ともまた生物を異にする。例へば濠州には高さ三百餘尺に達するユーカーリ樹がよく繁茂し、亞細亞には之を見ない。マダガスカル島及び其の北方セシエレン島には旅人木の如き奇形の植物があるが、亞弗利加大陸には之がない。又マダガスカルやセシエレン島には狐猿がゐるがアフリ加大陸には之がゐない。

植物の分布

□熱帯多潤地の植物

熱帯の中で多濕の地には植物の種類頗る多く、其の生育甚だ盛で、喬木大樹の雲を凌ぎ枝を交へ、寄生植物は是等の樹幹・枝葉到る所に着生し、オホタニワタリの如き巨

大の羊齒を初め一面に密着してゐる。又蔓生植物は幹枝に纏綿し、長數百尺の籐が喬木の樹頂から地に垂れ、再び地樹に攀縁するのもあつて蔓攀根錯綜し、晝尙ほ暗い大森林をなしてゐる所がある。南米アマゾン河の流域地方、亞細亞南部から東南に亘る地方即ち印度・印度支那・馬來諸島等、阿弗利加の中部地方即ちスダンの南部及びコンゴ川流域地方等に多く見る所である。

平地には棘椰子・ココ椰子・油椰子等各種の椰子樹盛に繁茂し、其高山地方には寒帯性の植物がある。又海岸で潮汐満干の境の邊にはマングローブ樹の密林をなせるものが多い。ガンジス河の三角洲等にもマングローブ樹がよく茂つてゐる。マングローブ(紅樹林)は熱帯の海岸特に灣入して波浪少い濕地に多い常緑樹で、印度及び馬來諸島によく繁茂してゐる。葉は楕圓形或は卵形で其の質厚く光澤がある。幹の下方に太い氣根發生し種々に分岐してゐる。大抵潮汐満干する境界にあるから、満潮の際は樹根は水中に没し干潮の時には露出する。樹下の泥土は黒色を呈し臭氣を放つてゐる。

平野には諸所に甘蔗・珈琲・稻・綿等の濕熱を好む農作物盛に栽培せられ、又到る所バナナ・パイナップル等の如き美味の果實に富んでゐる。

□温帯及び寒帯地方の植物

温帯地方では麥・稻・茶・桑等の農作物を栽培し、南部には樅の如き潤葉常緑樹、北部には松・杉・檜の如き針葉常緑樹茂つてゐる。又梅・桃・櫻・躑躅の如き花の美なるもの、或は桑子・林檎・柿・柑橘の如き果實の美味なるものを培養せられる。温帯の中山地方には寒帯性の植物が生育し、其の高山地方は生物が次第に減少する。

温熱兩帯は植物の生育概して盛んであるが、往々大氣の乾燥甚だしい爲めに大沙漠をなしてゐる。サハラ沙漠は其の最も著しい例である。沙漠にでも前に述べたやうな珍らしい植物を見る所がある。又一年の乾燥季には不毛の地となり、降雨季には綠野に變ずる所がある。蒙古及び中亞細亞の草原(キルギス草原等)南米南部の草原(バンパス等)等是である。此等の乾燥草原には百合科蘭科石竹科等がある。岩質の燥原に

は龍舌蘭・仙人掌等がある。印度・西印度・メキシコ高原等に之を見るのである。

寒帯地方は光熱濕氣に乏しいから植物甚だ少く、其の發育もまた良好でない。殊に西比利亚・加奈陀等に於る凍原の如きは夏季に於て僅かに蘚類・地衣類を生ずるのを見るのみである。其の高山地方には、勿論生物は全く存在しない。

□我が國に於る植物の分布

我が國は地勢變化に富み、風土所によつて一様でないから植物は其の種類甚だ多く随つて所によつて景觀を異にする。

臺灣では高さ千五百尺以下の地、琉球の沖繩島中部以南は熱帯林を成し、かじまる・バナナ・阿旦・ヘゴ等多く成長し、臺灣の山地中海抜千五百尺乃至六千尺の地、沖繩島中部以北本州の北緯三十五度以南、朝鮮の南半の平野、九州では平均二千八百尺以下筑波山では千五百尺以下の地は、亞熱帯林を成し、櫛・椎(常綠潤葉樹)・コナラ・クヌギ(落葉潤葉樹)等多く、海岸の沙濱には黒松がある。

本州の北緯三十五度以北から北海道の中部に至る間、朝鮮の山地、臺灣の六千尺乃至一萬五千尺の地は溫帯林を成し、榲ヌナを主とし、檜・杉・ヒバ等の針葉樹、オホナラ・ミヅナラ等の落葉潤葉樹等がある。朝鮮には朝鮮松が多い。

北海道中部以北・樺太・朝鮮北部山地・臺灣の一萬五千尺以上の高地等は寒帯林を成し、椴松・蝦夷松・落葉松類多く、白樺・ドロ等の潤葉樹を混ざる。又内地の高山には白檜又は青森椴松がある。

□我が國溫帯及び寒帯林の松類

朝鮮松は松杉科常綠喬木で數十尺の高さに達す、材は白色微黄である。果實は長卵形の球果で六七寸の長さあり。種子は大形で食用に供せられる。

椴松は松柏科の常綠喬木で幹は十丈餘に達す。外皮は青灰色で材は白色である。家屋・器具・製紙原料等に用ふ。

蝦夷松も松柏科の常綠喬木で、幹の高さ十丈乃至十五丈に達す。樹皮は黒褐色又は

灰白色で、材は白質で中心茶褐色を帯び、肌理稍緻密で水湿に耐へる。建築造船の材及び製紙の原料となる。

落葉松(から松)は松柏科の落葉喬木である。材は外側は白色、中心は赤褐色である。木理は粗で弾力強く工作を施すこと稍困難である。脂胞に富んでゐて水湿に耐ふ。建築・造船・鐵道枕木等に用ふ。樹皮は單寧を含み染料に供せられる。

□我が國の熱帯植物

榕樹(あかう)は桑科に屬する常綠喬木で、梢上から氣根を垂下し、遂に地中に入りて頗る奇觀を呈してゐる。果實はイチジクの實に似て小さく、大さは豌豆ほどである。榕樹は暖地に産するものであつて我が國では臺灣地方にある。

かじまるは榕樹の一種である。琉球地方に多く産し、其の氣根は榕樹の如く垂下するけれども地上に達しない。此の樹は琉球朱塗の原料となる。

あだんは林投樹(たこのき)の變種である。林投は臺灣に産し、幹は高さ一二丈に及

び、幹枝から長い氣根が出る。其の葉から纖維を採つて蓆・籠・帽子等を製す。あだんは之に似たものであるが、葉の下部のみに短小の刺が出来てゐて林投と區別せられる。之は琉球に多く産す。

へごは木生羊齒類で、幹の高さ二十四五尺に達することがある。木材は薪其の他の用に供し、風雅のものは觀賞用に供せられる。

動物の分布

□地勢・氣候と動物の分布

動物もまた氣候の影響を受け、且つ海洋・山脈或は食物等の爲に其の住所を限られるから各地其の種類も同じではない。例へば亞細亞・阿弗利加には猩々類・象・獅子・虎・犀・鱉等多く、ヤク・孔雀等は亞細亞に、河馬・シラフ・ゼブラ等は阿弗利加に又コンドル・ビューマ・リヤマ・アルバカ等は南米に、カンガル―鴨嘴獸・エミュー等は濠洲に限られてゐる。

概して熱帯地方には象・河馬のやうな巨大なもの、獅子・虎のやうな猛悪のもの多く棲し、温帯地方では牛・馬・羊・豚・鶏の如き有益なる家畜・家禽多く飼養せられ、寒帯地方では兩極に近づくに随つて動物大に減少し、終には僅に馴鹿・白熊・ペンギン等其の著しいものとするに過ぎない。

□熱帯地方の動物

象は地上の動物中最も大なるものであつて、森林中に棲み専ら木の葉を食餌としてゐる。捕獲せられて後は容易に人に馴れるのでよく之を使役する。印度に於ては最も多く使用せられ、昔は國王の乗ものとなり、また戦時には砲車をも引かせた。象牙は大切な商品である。阿弗利加象は亞細亞の印度象に比べて稍大で前額突出し輪廓が大である。

河馬は象に次ぐ大獣であつて、アフリカの内地に産し、好んで河に入りまた木の葉をもつて食餌としてゐる。口は甚だ大で齒もまた大で堅牢であるから、象牙と同じく

彫刻等に用ゐられる。其の肉・脂等も利用せられる。晝は隱處に眠り、夜間出でて耕作物を荒すことが多い。

ジラフ(麒麟)は南阿弗利加の林中に多い。丈は前趾から頭頂まで六米餘もあり、動物中最も高さものとして知られてゐる。肉毛皮角は皆利用せられる。性質は温順であるが力役に使用することは困難である。

ゼブラ(縞馬)はアフリカに産す、毛は概して乳白色で黒褐の縞がある。

孔雀は印度に多く時には群をなして飛んでゐる。羽毛は綠色であつて金光を放ち、其の雄は長大なる尾を有し、時々之を扇狀に開く。此の翼羽は裝飾に使用せられる。

猩猩類 猩猩は東印度ボルネオに産す。身長四尺餘で、赤い長い毛を破り顔面は黒い。黒猩猩はアフリカ内地の産であつて、大いさは人に近いものがある。性は温和である。毛は黒く顔面は暗黄である。ごりらもアフリカ内地に産し、全身黒く、身長七尺に達し、性質は極めて兇暴であつて最も土人に恐れられてゐる。これ等は全く尾

を有せず、身體も頗る人類に似てゐるので類人猿と云ふ。土人はまた之を森の人と呼んでゐる。皆深林中に棲み、雨露を防ぐに木の葉を以て樹枝上に屋を造つてゐるものがある。通常の猿類に比ぶれば智力も大いに進歩してゐる様である。

獅子はアフリカの沙漠地方に多く棲みまた亞細亞の西南部にもゐる。全身淡褐色であつて砂の色に似てゐる。毛皮・肉は利用せられる。其の性質は最も犍猛であつて獸王と稱せられる。

□温帯及び寒帯の動物

ヤクは西藏・新疆省などには必要な家畜で、肉・乳・皮・毛は皆利用せられる。毛は長く脛は短く峻路を巧みに登るので、山地に於ては大切な家畜となつてゐる。西藏では其の糞を燃料に利用する。

馴鹿は性溫柔で、寒帯に必要な動物である。土人は之に櫓を引かして使役する。蘚苔類を以て之を飼養することが出来るので便利である。亞細亞・歌羅巴・亞米利加の

北部に多い。

白熊は北極地方の氷上に棲む。毛は足の裏面にも生えてゐる。肉食哺乳動物中最も大なるものであつて、頸は長く體は長狹で其の長さ八尺から一丈に達するものがある。陸では鳥卵・幼鳥、海では魚類を求めて生活する。寒國の土人は其の毛皮を外套又は夜具に利用する。

ペンギンは寒地に棲む鳥の一種で、體は大で長さ四尺、重量もまた大であつて翼は小であるから飛ぶことが出来ない鳥である。脚は短かくて後方に附着し、趾間に蹼を有してゐる。其の翼を動かして巧みに游泳する。此の鳥は氷上で産卵し寒天によく孵化する。猛獸の襲來の憂のない南極地方に多く棲む。

□濠洲大陸の動物

カンガルーは有袋類で食草族である。其の種類甚だ多くして、地上を飛ぶもの、地中に棲むもの、樹に登るもの、他のカンガルーを捕食するものなどある。牝には腹部

に一個の袋があつて、幼兒は極めて小さい時に生れ、此の囊中で哺育せられる。體軀は其の大なるものは二米突に達し、肉も皮も利用せられる。

鴨嘴獸は濠洲にのみ産する小奇獸であつて、上下の顎には角質の嘴を有し、齒を有しない、水邊の地中に穴を穿ちて巢を造り、そこに卵を産む。哺乳類であつて卵生するのは此の獸のみである。體は四十種内外で、尾は長く十五種もある。

エミューは六七尺の大鳥で、翼は毛状で色は黒い。其の肉の味は極めて佳良である。

ビクヒドリも濠洲特産の走禽類であつて、趾は三本あり、頭には骨冠を有してゐる。

□新大陸熱帯地の動物

コンドルは大きさ約三尺あつて、羽翼を擴げると九尺にも達する猛禽であるが、性質は怯懦であつて人畜を害する事は少ない。南米のアンデス山中に多い。

ビューマは尾を除いて四尺程の動物で、一名亞米利加獅子と稱せられる。脊筋の尾端の外は脊は一般に黄褐色で、腹は白色である。鬣なく四肢は樹に上るに適してゐる。

リヤマは其の性質駱駝に似た點が多いが、高さは三四尺位である。ペルー地方に多く飼養せられ、力役に供せられる。又肉・毛も利用せられる。

アルバカはリヤマに比べると稍大であつて、やはり駱駝に似てゐる。其の毛は長くして光澤に富み毛織物の原料に供せられる。アルバカと名づける織物は即ちそれである。

□我が國に於ける動物の分布

我が國の動物も地勢・氣候・及び土地の陥没等の影響を受けて地方によつて多少の差異がある。琉球以南には熱帯性の動物に富み、九州以北は亞細亞・歐羅巴の大部と同じ動物で温帯性のものが多く、また有用家畜に富んでゐる。

津輕海峽は動物分布の界線をなすもので、北海道には猿なく、熊は赤熊と代つてゐる。本州・四國・九州には猿・猪・本州にはさんせうを、琉球列島にははぶ、小笠原島の海龜、千島の臘虎、朝鮮の虎等も著しいものである。其他臺灣には水牛、樺太には

馴鹿が多い。

□我が國各地動物の重なるもの

さんせううをははんざきの異名で有尾棲類である。其の名の起りは山椒の臭氣あるためであると云はれてゐる。山間淡水中に棲息し小魚蚯蚓等を捕つて食してゐる。四國・近畿及中部地方の山間に多し。

はぶの體色は脊面は淡黄褐色であつて、背中に黒褐色の斑紋列がある。其の黄色のものを金はぶと云ひ、灰色のものを銀はぶといふ。何れも毒性甚だ強烈である。

海龜は小笠原諸島に産し、通常正覺坊といふ。甲は鼈甲に模擬して種々に使用せられる。肉は食用とし、油もまた良質である。

赤熊(罴)は北海道の特産であつて、身長六七尺、毛色は黒褐色であつて咽喉の所に白い三日月形がある。此の獸の急所であると云はれてゐる。其の性質強暴であつて時々人畜を侵す。アイヌ人はよくよの子熊を捕へて育てる。その幼時にはアイヌ婦人は

自から乳を與へることもある。長ずるに及んで人を害するやうになる。その時は之を殺して熊祭を行ふ。毛皮は中等品であるが、被服又は敷物に適する。

水牛は温暖濕潤の地を好み、屢々水中に入るか、又は身體に水をかけるかして元氣を回復するものである。力役に適し、角・脂・皮等も利用せられる。肉は食せられるが味はよくなす。

第七 人類

人類

□人類の生活

人類は地質年代の新生代第三紀中新統頃に既に地球に存在してゐたと云はる。佛國では此の地層中に人類の遺物である所の石器類を發見した。此頃の人類は頭部の發育甚だ不完全で外貌は猿に似てゐたと云はれる。之が所謂原人で、裸體で穴居し、生物を捕つて生食し、粗造の石器等を使用してゐた。然るに其の後長い年月の間に心力は次第に發達し、遂に今日の如き人類を見るに至つたのである。

今日の人類は知能著しく發達し、よく自然に順應し、また之を利用してゐる。即ちナイガラ瀑布の水力電氣に利用せられ、オランダに於て排水及び工業に風車を利用する等は其の例である。また自己の工夫によつて寒暑風雨をしのぎ、或は次に其の地

方に慣れて廣く地球上に生存する。寒地にゐるエスキモー人は厚い毛皮の服を着け、氷の家に住んでゐる。南洋の熱帶地方では裸體のもの多く、又水上に家を造つて住んでゐるものがある。

又人類は社會的動物であつて、至る所に於て群集生活を營んでゐる。故に人類の生活範圍は甚だ廣い。例へば歐洲最高峰モンブランの頂上にも、氣溫攝氏零下六十八度のベルホヤンスクにも人類が生活してゐるが如きである。又中央亞細亞のトルコマンは他族に追はれると砂漠の中に於ても生活し、阿弗利加の矮人は黒奴ニグロに追はれて熱帶森林中にも生活してゐる。

人類が一地方の風土に慣れた後は之と異なる地方の風土に適應して生存する事は困難である。温帶地方の人間が熱帶地方に於ては、其の土地の土人に比して太いに生活の困難を感じるが如きは即ちそれである。又歐洲人の中では、白色のものは淡褐色のものに比べて一層暑さに對する抵抗力が弱いのである。

□頭・皮膚・身長・毛髪による區分

人類は大體に於て身體も精神も似てゐるものであるが、地方によつて多少の差異がある。身體上之を區分する標準としての重なるものは頭形・皮膚の色・身長・毛髪及び眼鼻の形等である。

頭形は長さとの幅の割合が人種によつて異なる。阿フリカの黒奴の頭は長さ百につき幅七十五以下である。ルーマニヤ人の頭の長さ百につき幅八十五以上となつてゐる。此の様な頭形の差異は人類を身體上區別するに大切な標準である。

皮膚の色は表皮と真皮との間にある色素の多少によつて異なるもので、色素多ければ黒色となり、少なければ白色となる。之を白色(歐羅巴人種)黄色(亞細亞人種)黒色(阿フリ加人種)の三つに大別する。歐羅巴人種に屬するものでも印度人及び埃及人の如く暑い地方に住むものは褐色となつてゐる。

身長も人種によつて異なつてゐる。概してスコットランド人、諾威人等は丈高く、

亞細亞の東南部の住民は丈が低い、又北極に近い地方に住んでゐるエキスマー人は體軀極めて矮小である。

毛髪の色、質等にもまた差異がある。亞細亞人種は概して強直で黒色である。歐羅巴人種は波狀で縮れ、茶色に近い色である。又黒奴は軟かで縮れ黒色である。

其の他眼・鼻・唇の形狀・虹彩膜の色(亞細亞人は黒色で歐羅巴人は青色である)等を異にし、鬚髯にも多少の差異がある。

□人種的區分と其の分布

人類の區分で最も廣く行はれてゐるのはブルームンバツハ氏の五分法である。即ち亞細亞、歐羅巴、阿フリ加、馬來、亞米利加の五人種が之である。次に稍行はれてゐるのはキウービエ氏の三分法である。即ち黄色・白色・黒色の三人種が之である。勿論人類中に之等の分類中に入れられぬものもあり、又種々の雜種も澤山出來てゐるのである。又言語、文化の點から區分することは普通行はれる法である。例へば佛蘭西人

はラテン、ゲルマニー、ケルト其他種々の民族の雜種であるが、其の言語、文化等がラテン的であるのでラテン民族と呼ばれてゐるの類である。

亞細亞人種 皮膚の色は概ね黄色を帯びてゐるから一名黄色人種と稱せられる。顔面は平たく、鼻は中位で、頭髮は硬直で黒色である。鬚髯は少なく、身長は低い方である。人口は六億に近い。此の亞細亞人種の中には日本族、朝鮮族、ツングース族、蒙古族、北方族、支那族、西藏族、印度支那族等がある。また歐洲の一部に住してゐる土耳其族、マジヤール族、フィン族、ラップ族等がある。以上の中支那民族は數千年前から文化風に向け東洋文明の一大源泉をなしてゐる。

歐羅巴人種 其の皮膚は白色であるから又白色人種と名づけられる。顔面は楕圓で額廣く、鼻は高く狭く、頭髮は柔かて茶色で且つ波状をなしてゐる。鬚髯は豊かて眼睛綠色で眉目の間狭く、丈は高い方である。人口は九億を數へ、始めは主として歐羅巴に住み、歐羅巴以外では印度・イラン及び亞刺比亞を経てアフリカの北部等に住

するに過ぎなかつたが、近世に至つて、南北亞米利加を始め濠洲、アフリカの南部、亞細亞の北部等世界至る所に移住するやうになつた。

此の人種中アリアン、セム、ハムの三派は其の主要なるものである。アリアン派にはラテン族、チュートン族、スラブ族、ギリシヤ族、ケルト族、イラン族、印度族等がある。セム派には亞刺比亞族、猶太族等あり、ハム派にはエジプト族、ベルベル族等がある。

歐羅巴人種中、印度、メソポタミヤ、埃及等にゐたものは數千年前に於て既に文化の域に達し、希臘、羅馬等にゐたものは之に次ぎて開け、以て今日の西洋文明の基礎をなしたのである。今日最も勢力を振つてゐるのは英・獨の如きチュートン族と、佛・伊の如きラテン族である。

アフリカ人種 概して皮膚黒色であるから又黒色人種とも呼ばれてゐる。額は扁平で後に退き、額は前に出て、顔面角鋭角をしてゐる。鼻は廣くして低く、頭髮は黒く

て卷縮し、鬚髯は少ない。身長は概して高いけれども中には低いものもある。

此の種族は主として阿弗利加の中部以南に住し。人口は一億八百萬ある。此の種族中重なるものはニグロ族であつて、之れはスダンニグロとバンツニグロとに大別せられる。此等の西南にブツシユメン及びホツテントット族がある。ニグロに比して身長は低い。更に中央阿弗利加の森林中には矮人種がある。之はニグロの侵入によつて山林中に壓迫せられ、敗殘の状態にあるもので、身長最も小で四尺五六寸のものである。

阿弗利加人種の多くは野蠻の域を脱しないけれども、始め奴隸として南北兩亞米利加に移され、後に開放せられたものの中には知識の頗る進歩してゐるものがある。北米合衆國には約一千萬のニグロがゐる。其の中には教育あるものもあつて、近年人種の平等の待遇を得んことを欲してゐると云はれてゐる。ホワード大學は純然たる黒人の大學で、學生も教授も皆ニグロであつて總長一人が白人であるのみである。

馬來人種及び海岸島嶼民族 馬來人種は皮膚黃褐色で、顔面は橢圓形で、軟骨は出

てゐない。頭髮は柔かて眞直で黒色である。鼻は中位で鬚髯は少ない。歐羅巴人種に似た所もあるが亞細亞人種にもよく似てゐる。此の人種はマラッカ半島から馬來諸島に分布してゐる。ジャバ・ボルネオ・スマトラ・フィリピン諸島の土人がこれである。外形上多少西洋文明の影響を受けてゐるものがある。

ニュージールランド島から東北に進んでハワイ諸島に亘れるポリネシア諸島にはポリネシア種住し、其の體格容貌馬來人種に近似してゐるから、馬來ポリネシア種族と併せて稱せられる。人口は兩種族併せて四千八百萬を數へてゐる。ニュージールランド島の土人は文身で名高く、ハワイの婦人は舞踏を好むので世に聞えてゐる。

ニューギニヤにはバプア人と呼ぶ土人がゐる。皮膚黒色で毛髪は縮れてゐる。メラネシア及びミクロオシア諸島の住民も之に似てゐるので、此を總稱してバプアメラネシア種族と呼んでゐる。

濠洲の土人としてオーストラリヤ種族がある。皮膚黒色で眼の上の骨が突出し、眼

ある。

六大洲中最も人口の多いのは亞細亞洲であつて、其の數約九億で世界全人口の二分の一以上を占めてゐる。歐羅巴洲は四億六千餘萬、阿弗利加洲は一億三千万、北亞米利加洲は一億二千七百萬、南亞米利加は四千八百萬であつて最も少ないのは濠洲で七百八十八萬であるから、亞細亞洲の百分の一にも及ばない。

人口の増減 文明諸國に於ては概して人口増加し、野蠻未開の地方では減少する所が少なくない。文明諸國では出産盛んである上に文化發達し、衛生醫術進歩し、争闘少く政治よく行はれてゐるから、人口は次第に増加する傾がある。然るに野蠻の地方に於ては常に争闘起り、文明人に壓迫せられ、飲酒其他の惡風盛んに行はれ、又其他惡疫等によつて却つて減少する傾向がある。

人口の増減 文明諸國に於ては人口は年々増加しつゝあるが、其中増加律の最も大なるは北米合衆國で、一年間に百分の一、九に及ぶ。之は移住にもよるものであ

る。歐洲の東部及び東南部は生多くて人口増加の盛なる地方である。ルーマニヤは一、五、セルビヤは一、六、ブルガリヤは一、四、露國は一、三七に達する、獨逸の一、三四、和蘭の一、三八等は何れも増加律大であるが、佛國の如きは増加律甚だ小で、米國の十分の一ほどの割合である。

人口の密度 世界人口の密度は一方里につき平均約百七十人である。歐羅巴洲は風土良好で水陸の交通の便備はり、産業發達し、文化進歩してゐるから人口最も稠密で一方里の平均人口約七百二十餘人で世界平均人口密度の約四倍に及ぶ。中にも中央以西の商工業地方は最も稠密で、白耳義は三千八百八十、和蘭は二千八百八十、英國は二千二百二十、伊太利は約二千、獨逸は千九百十に及んでゐる。

亞細亞洲は歐羅巴に次いで稠密で、一方里約三百人に達し世界平均密度の倍に近い。其の中で最も稠密なのは瓜哇の三千五百七十、英領海峽殖民地の二千七百七十等で、我が國は約千七百七十に當つてゐる。又支那本部は千百四十、印度は千四十等は何れ

も稠密であるが之は氣候溫暖で雨量も多く、産物に富み古來より文化發達の地方であるからである。

他の諸洲は未開地多く人口稀少で其の密度も世界の平均數に及ばない。即ち北米は七十、阿弗利加は六十、南米は四十である。最も疎である大洋洲で一方里十四人であるから其の密度は世界平均數の十分の一にも達しない。

要するに世界で人口の密集してゐるのは亞細亞の季節風帶、西歐の工業地方、北米の工業地方である。

□我が國の種族

我が國の住民の大部分は亞細亞人種に屬し、他人種としては、臺灣に於る少數の馬來人種と、小笠原諸島に於る少數の歐羅巴人種とが住するのみである。

大和民族 住民の大部分を占め、其の人口約五千七百二十萬に及ぶ。太古日向地方と出雲地方とに居住してゐたものを中核とし、之に朝鮮、支那より歸化したもの及び

態襲、アイヌ等を雜えたものから出來てゐる。身體は亞細亞人種としての特長多く、身長は概して低く平均一米五二である。

此の民族は約三千年の歴史を有し、歷代天皇の鴻恩に浴し、忠愛の念旺んで團結力の固い事は世界に比類ないのである。

朝鮮族 主として朝鮮に住んでゐるが、近來その少數のものは内地の各所に移住してゐる。その人口千六百三十餘萬ある。容貌は大和民族と酷似してゐるが身體は稍大である。衣服は上衣と袴とから成り主として白布をもつて造る。中流以上のものは肌衣又は胴着を着け、頭に冠をいただいてゐる。

此の民族は昔は文明の進んだ時代もあつたが、近世に至つて氣力衰へた。最近は次第に新文明の輸入を見るやうになつた。

支那族 主として臺灣に住してゐる。對岸の南支那から移住して來たもので人口約三百四十餘萬ある。其の體格言語風習共に南支那人に似てゐる。臺灣に於て重要な位

置を占めてゐる。

馬●來●族 臺灣の山地又は山麓に住んでゐて、熟蕃と生蕃とに分ける。熟蕃は支那族の感化を受け山麓で農耕等に従事し、其の數約五萬ある。生蕃は性質獷猛で、山地に據り主として狩獵に従事してゐる。其の數九萬あつてアタイヤル、サイセツト、ブヌン、ツオウ、バイワン、アミ、ヤミの七種に分ける。

アイヌ族 北海道と樺太南部とに住してゐる。其の數約一萬八千ある。此の種族は純粹の亞細亞人種の如く考へられてゐたが、最近に於てアリアン族の一種であると云ふ説もある。毛髮鬚髯多く、女子は婚嫁すると口邊に黛をするの習慣がある。

性質勇猛にして、昔は主として狩獵を事とし、よく猛熊捕獲した。また手工に巧みであつた。マキリと名づける小刀をもつてよく色々な細工をする。女子もアツシと名づくる衣服に様々な模様を繡てゐる。

北海道舊土人と呼ばれて、文化の程度も低かつたが近來大いに進み、兒童の教育等

も内地人と變りはない。主として農業を營んでゐるが、海岸や河邊にゐるのは漁業を營んでゐる。また小學校の教師をしてゐるものも少なくない。極少數ではあるが著述家もゐる。

ギ●リ●ヤ●ク●族 及び オ●ロ●ツ●コ●族 共に亞細亞人種中の極北族に屬し、樺太島の國境に近い幌内川流域に住んでゐる。ギリヤク族は鼻が扁平で目眦舉り眉秀でゐる。オロツコ族は頬廣く、眼小に頭髪を後方に垂れ辮髪としてゐる。身長は何れも大でない。漁業を營みまた種々の勞役に従事してゐる。

小●笠●原●島●住●民 小笠原島には少數の歐羅巴系人種がある、之は大和民族移住前から居住してゐるものであると云はれる。衣服は和服で、家屋は木造ペンキ塗で、屋根は蒲葵葉を用ひてゐる。又室内は木床で椅子・寢臺・卓等を置いてゐる。

□我が國の人口

我が國の人口は約八千萬で、世界人口の凡そ二十二分の一に當り、一方里の平均人

口は約一千七百六十餘人で、世界人口平均密度の約十倍に當る。就中密度の大なるは氣候良好で、産業發達し、又古來より文化發達した地方で、關東平野、近畿の諸平野、瀬戸内海の沿岸、九州の北部、臺灣の西部、朝鮮の中部以南の諸平野等である。又人口の甚だ疎なるは嚴寒又は酷暑の地、或は山地等であつて、樺太、北海道、臺灣の東部地方等である。

我が國の人口の増加率は年々千人につき平均十五人に近い。而して海外に住居するものは僅かに百萬を超えないほどである。

□我が國各地方人口總數及び人口の密度

本州	面積(方里)	人口	人口密度
關東地方	一四九二四	四一八〇六九三〇	二八〇一
關東地方	二〇九二	一一二七六六五	五三一八
奥羽地方	四三三七	五七九三七八八	一三三六
中部地方	四九三四	一二四二三九七九	二五一六

近畿地方	面積(方里)	人口	人口密度
中國地方	一五〇六	七四九一六〇八	四九七四
四國	二〇五三	四九六九八九〇	二四二〇
九州	一一一六	三〇六六〇二五	二五二〇
北海道	二八六七	八七二九〇八八	三〇四四
朝鮮	五九八七	二三五九〇九七	三九四
臺灣	一四一二三	一七二八四二〇七	一二二八
樺太	二二二四	三六五四三九八	一五六三
總計	二二〇九	一〇五七六五	四八
總計	四三六五一	七七〇〇五五一〇	一七六四

□言語の發達と言語による人種の區分

言語は人類の一特性で、言語の發達は人類の進歩に大なる影響を與へてゐる。即ち人類の原始時代にあつては、言語は極めて簡單なものであつたが、時代の進むに従ひ、また文字の出来るに及んで更に進歩しまた複雑となつた。そしてまた古いものが死言

となり、新しい言語が出来て常に變化し、また分裂して行く。故に各地方に方言起り、其の數甚だ多くなるのである。

言語は人類を區分する大切な標準で、之によつてのみ人種を區分する法もある。例へば古きアリアン語から分派した言語を使用する人類をアリアン人種と云ひ、歐羅巴にゐるものも印度及びイラン高原地方の住民も同一の人種であることが其の言語の比較によつて明らかにせられた等がそれである。

亞細亞洲に於てはウラルアルタイ語系が廣く行はれてゐる。

□國語と統治の關係

何れの國に於ても皆各々獨特の國語がある。國語は其の國民の精神生活と密接な關係をもつてゐるものであるから、國民の融和統一上最も大切なものである。であるから一國內に於て種々の言語が行はれてゐる所では統治上の不便は少なくない。

瑞西には國語なく、西部には佛蘭西語、南部には伊太利語、東北部には獨逸語が行

はれてゐる。又世界大戰前の塊地利洪牙利國では、十數種の言語が並で行はれてゐて、國內統一上非常に不便であつたが、世界大戰を機として、言語の異なる民族の分離獨立が行はれ、約五箇の國が出来た。

□世界に於る各國語

國語の中、最も廣く行はれてゐるのは英語で、英吉利本國の外、米國、英領の各地及び其の他の諸國にも行はれてゐる。又英國人が商業によく活動してゐる所から、商業上の用語として廣く用ひられてゐる。

佛蘭西語は佛蘭西の外白耳義、瑞西等にも行はれてゐる。此の國語は耳觸りの音などを無音とし、又は和かに發音するので、言語が流暢であるのと、此の國がルイ十四世の頃から外交の中心となつた關係等から外交上及び上流社會の交際上の用語として用ひられる。

獨逸語は獨逸の外奥在利、瑞西等に行はれてゐる。此の國は學問が進んでゐるので

學術語として各國の學者間に多く使用せられてゐる。

西班牙語は西班牙本國の外墨西哥、中央亞米利加及南亞米利加の大部分等に行はれてゐる。之は西班牙が第十六世紀の頃亞米利加に廣大な領地を所有してゐた結果、今日尙其の言語が残つてゐるのである。

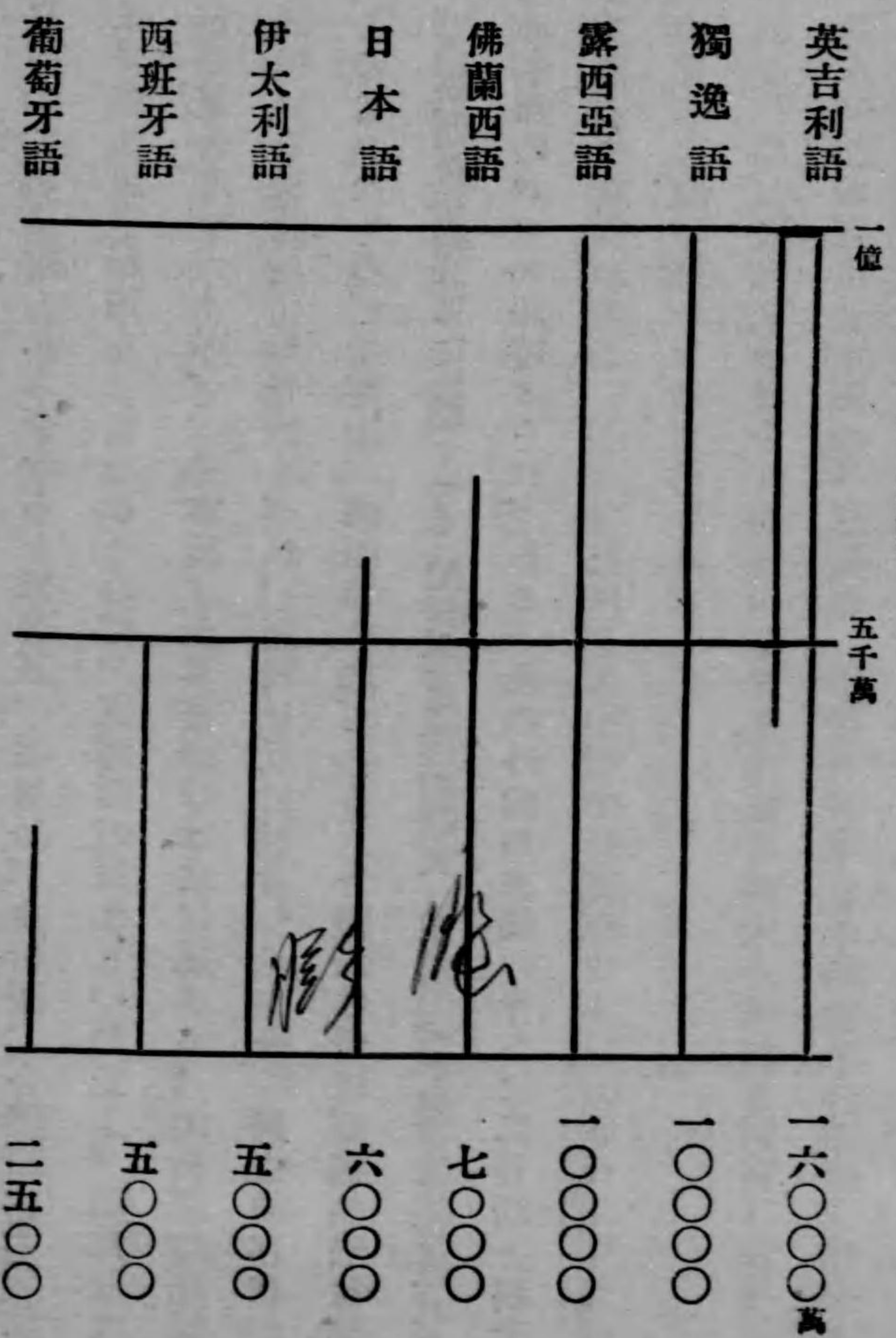
支那語や露西亞語は、それを使用する支那や露西亞の人口は多いが、他國人にはあまり使用されない。

日本語は内地人の用語であるのみでなく、朝鮮、臺灣、樺太等の學校でも使用せられてゐるから、此等新領土の青少年の間に行はれ、又内地人が新領土に移つて活動してゐるから益々廣く行はれるやうになつた。又滿洲、山東省、布哇等の外國の地で、日本人の多く移住してゐる地方にも普及するやうになつたけれども、以上の諸國に比すると、之を使用する人口は少ない。

□言語の構成上からの分け方

言語は之を構成上から分けると單音語、添加語、曲折語、合體語、配列語等となる。單音語は語根が獨立してゐるもので、支那語の如きものを云ふ。添加語は語根の一つが語尾となつたもので、日本語、土耳其語等は之に屬する。曲折語は語詞の主要なる語根にも又語尾にも音韻くづれ、語根は互に融着して、全く獨立的存在が失はれることになつたもので、英語、佛語等は之である。合體語は語根が無制限に結合するもので、墨西哥語等は之に屬する。配列語は接頭語又は後置語が盛んに行はれるもので、阿弗利加のバンツ語等はそれである。此の外尙馬來語のやうに二音語と稱せられるものもある。

□世界主要國語の使用人口概數



第八國家

國家

□國家及國家成立の要素

人類は地球上至る所に繁殖して、小なる家族から進んで大なる民族に膨脹する。又人類の増加するに随つて各團體は土地所有の必要が起る。元來人類は社交的動物であつて、その性情は團體生活に適するものである。故に人智の進むに従つて、一民族或は數多の民族相集まつた一定の土地を所有し、一人の元首によつて支配せられ、或は人々相協力して政を行ひ、よく領内の安寧秩序を保つことになれば、茲に國家なるものが確立し、諸外國の承認によつて其の獨立を完成するのが普通である。

此の國家と稱する社會團體には國土・國民・主權の三要素がある。此の要素の何れを缺いても國家は成立しない。例へばアラビヤ半島に於てはアラビヤ人の各部族が互に

割據して、其の主權確立しないため一の國家を成さない。猶太人は民族としては富豪も多く有力なものであるが、其の國土がないから一國家をなさない。近來猶太人は英國の後援を得て、其の故國パレスチナに獨立の國家を建設せんと努力してゐる。凡そ國家の富強は、其の位置、風土、産物、並びに國民の性質、人口等によつて左右せられ、政治の良否等も亦大いに國力に影響するものである。

□世界に於る君主國と共和國

現今世界に分立する國は、其の數五十餘ある。然し國土・人口・富力・兵力等から見ても、眞に獨立の體面を保つものは三十内外に過ぎない。

是等の中で君主を戴いてゐる主要な國は日本、暹羅、英吉利、伊太利、瑞典、諾威、丁抹、和蘭、白耳義、西班牙、希臘、土耳其、ブルガリヤ、ルーマニヤ、ユーゴスラビヤ等で、主として歐亞大陸の舊國にある。

又共和國の主要なるものは、亞米利加合衆國、佛蘭西、獨逸、洪牙利、埃地利、瑞

西、葡萄牙、支那、智利、伯刺西爾、亞爾然丁、墨西哥、ポーランド、フィンランド、チエッコスロバキヤ等である。新大陸には一つの君主國なく、新に出来る國家も大抵共和國となる傾向がある。

露西亞、獨逸、埃洪國、支那等は近年まで皆君主國であつたが、革命が起つて共和國となつてしまつた。又英國の如きは君主國であつても歴史の結果として議會の勢力が盛んで、君主の權が大に制限せられる點がある。君主國に於ても日本の如き國體は世界に類がないのである。

□世界の獨立國(豆粒大の小國を除く)

歐、羅、巴、洲

英吉利、佛蘭西、伊太利、西班牙、葡萄牙、和蘭、白耳義、ルクセンブルグ、瑞西、獨逸、露西亞、丁抹、諾威、瑞典、芬蘭、波蘭、チエッコスロバキヤ、埃地利、洪牙利、ユーゴスラビヤ、アルバニヤ、希臘、ブルガリヤ、ルーマニヤ、リトワニ

ヤ、ラトヴィヤ、エストニア、
亞細亞洲

日本、支那、暹羅、波斯、土耳其、アフガニスタン、ヘジャス、アルメニア、ジョー
ーシヤ、アゼルバイジャン、

阿弗利加洲

アビシニヤ、リベリヤ、エジプト

北亞米利加洲

亞米利加合衆國、墨西哥、グアテマラ、サルバドル、ホンデユラス、ニカラグア、
コスタリカ、パナマ、キューバ、ハイチ、サントドミンゴ、
南亞米利加洲

ブラジル、アルゼンチン、チリ、パラグワイ、ウルグワイ、ペルー、ボリビア、エ
クワドル、コロンビヤ、ベネズエラ、

豆粒大の國々

	面積	人口	國體
モレスネット	三十五町歩	三五〇〇	王國
モナコ	一方里	二三〇〇〇	王國
リヒテンシュタイン	十一方里	一〇七〇〇	王國
サンマリノ	六方里	一一六〇〇	共和國
アンドラ	三十方里	五〇〇〇	共和國

世界の列強國

世界の強國と稱せられるのは日本、英吉利、亞米利加合衆國、佛蘭西、伊太利の五
國である。獨逸は世界大戰以前には強國に列してゐたが、大戰によつて領土及人口減
少し、軍備、交通、經濟等について大いに勢力を失つてしまつた。露西亞及び埃洪國
も大戰前には強國に列してゐたが、大戰後勢力を失つて二等國以下に落ちたものと見
てよい。埃洪國は多數の國に分裂し、露國は革命後瓦解し、最近に至つて漸く獨立國

として認められるに至つたに過ぎない。

各國の面積人口によつて国力の一般を推すには、本國の面積人口で比較すべきである。本國の面積の大小、人口の多少は国力の主要なる要素で、領地の増加は国力の充實に伴つて起るのが常である。

此の列強諸國は風土概ね其の宜しきを得、國民一般に進取の氣象に富み、之を統治する主權も亦よく確立してゐる。

□列強國面積の比較及境、洪、獨の現面積

國名	本國面積 方里	總面積 方里
英吉利	二〇〇〇〇	二〇七〇〇〇〇
佛蘭西	三五七〇〇	八六〇〇〇〇
亞米利加合衆國	六〇〇〇〇	六二〇〇〇〇
伊太利	一九四〇〇	一〇〇四〇〇
日本	二四七九四	四三〇〇〇

國名	現面積
境	五四〇〇
洪	一〇〇〇〇
獨	二八八〇〇

□列強國人口の比較及境、洪、獨の現人口

國名	本國人口 萬人	總人口 萬人
英吉利	四六〇〇	四二〇〇〇
亞米利加合衆國	一〇六〇〇	一一四〇〇
佛蘭西	四二〇〇	八八〇〇
日本	五六〇〇	七七〇〇
日	三八〇〇	四〇一〇
伊太利	六〇〇	
境	一二〇〇	
洪	五五〇〇	
獨	五五〇〇	

統治

□殖民地とその統治

人口増加し、産業勃興すると食料・原料の供給を仰ぐため、又は商品の販路を求め、爲めに殖民地増加の必要が起る。又投資の安全を計るためにも殖民地の必要が起る。又國家が膨脹したいとの考のみからも殖民地の増加を企つる時がある。

殖民地統治の方法に種々ある。昔は君主から領主に封土として殖民地を與へたこともあつた。今日の北米ペンシルバニア州はもと英王がペンに與へたものである。又會社で殖民地を支配せしめる特許殖民地とも稱すべきものがある。英國の東印度會社が、久しく印度を支配したのは其の例である。現今は此の種の殖民地少なく、南阿の英領ローデシヤに此の例があるのみである。

之に反して國家又は君主の直轄地たる殖民地は多くある。セントヘレナ、香港、英領海峽殖民地等は其の例である。

又文明人の多く殖民した結果、文化の進歩した殖民地では自治制度の行はれてゐる所がある。英領加奈陀、濠洲、及び南阿聯邦等が之に屬する。此等は殆んど獨立國に

近い勢力を持つてゐるので、國際聯盟に於ては、獨立國と同様に代表者を出すことになつてゐる。

□大戰後増加せる英佛の殖民地

列國中には廣大なる殖民地を有するもの少なくない、就中英國の殖民地は各大洲に亘つて、其の面積約二百餘萬方里で、世界陸地の約五分の一に當り、其人口は三億六千六百萬人で世界人口の凡そ五分の一に當る。

此の中大戰後に於て増加したものは面積十七萬方里、人口千二百三十萬人である。

地名	面積 方里	人口 萬	統治
舊獨領ナウル島	三分の一	1	英本國委任統治
舊獨領南洋諸島	一五五〇〇	五四	濠洲委任統治
舊獨領西サモア諸島	二〇〇	四	ニュージーランド委任統治
舊獨領南西アフリカ	五五三六七	二〇	南阿聯邦委任統治
舊獨領東アフリカ	六〇八六四	七三〇	英本國委任統治

舊獨領カメルン	五五〇〇	四二	英本國委任統治
舊獨領トゴランド	二一〇〇	三四	英本國委任統治
舊土領バレスチナ	一六六〇	六五	英本國委任統治
舊土領メソポタミヤ	二四〇七五	二八五	英本國委任統治
總計	一七〇〇〇〇	一、二三四	

英國について廣大なる殖民地を有するのは佛蘭西で、其の面積八十二萬餘方里、人口四千六百萬人に及んでゐる。

之また新に獨逸殖民地の一部即カメルン及びトゴランドの一部を領し、舊土耳其領たるシリヤに委任統治權を得る事となつた。

舊獨領アルサスローレン	九四二	方里	一八七	萬	本國に合併
舊獨領トゴランド	三三〇〇		六九		委任統治
舊獨領カメルン	二六三五五		二二二		委任統治
舊土領シリヤ	一七九三八		三一三		委任統治

總計	四八五三五	七八一
內 殖民地	四七五九三	五九四

□各國殖民地及びその面積・人口

英國の殖民地には豊饒な地が多い。また佛蘭西の殖民地にはサハラ地方の様な不毛な地もある。白耳義、和蘭、葡萄牙等は昔盛大であつた名残として尙廣大な領地を有してゐる。又伊太利は土耳其のトリポリを得たので其の殖民地が大になつた。獨逸は大戦前には佛蘭西に次いで大なる殖民地を有してゐたが、戦敗の結果全部之を失ふ事となつた。露西亞は亞細亞に大なる領地を有してゐるが、其の多くは嚴寒不毛の地である。

世界列國の殖民地の面積・人口は左の通りである。

英 吉 利	面積	人口
佛 蘭 西	二〇〇〇〇〇方里	三六六〇〇萬
第八國家	八二五七〇〇	五七〇〇

白	耳	義	一四七〇〇〇	一五七五
和	蘭		一二五七〇〇	四七〇〇
葡	牙		一二四八〇〇	八七〇
伊	太	利	八〇〇〇〇	一四〇
北	米	合衆國	二〇〇〇〇	九三五
日	本		一八六六四	二一〇四
露	西	亞	一一〇〇〇〇〇	六七〇〇

□租借地

租借地とは一國が他國の領土を其の承諾を得て、一定の期間自國で之を統治する土地を云ふのである。關東州租借地について云へば、其の主權は支那にあつて、其の領土及び人民は支那のものである。然し我が國に其の主權の行使を一定の期間貸與してゐるのであつて、我が領土に準ずべきものである。

關東州は明治卅一年露國が支那より租借したものであつたが、日露戦役後我が國が

露國に代つて租借權を繼承した、大正四年の日支條約によつて其の期間を延長し、明治卅一年から九十九ヶ年間の租借期間としたのである。

威海衛は英國が支那から租借したものであつて、租借期間は明治三十一年から二十五ヶ年である。

膠州灣は獨逸が同年支那より租借したものであるが、日獨戦役の結果我が國に占領せられ、我が國で獨逸の有する權利を繼承する事になつたが、ヴェルサイユ平和會議に於て我國より直接支那に對して、之を還付する事になつた。

□委任統治地・地域及人種との關係

世界大戰の結果、獨逸、土耳其の舊領土で、その従前支配して來た國の統治を離れる殖民地及び領土で近代世界の激甚なる生存競争状態の下に於ては未だ自立する事の出来ない人民の居住してゐる地方は、此等住民の福祉及び發達を計りたいと云ふ主義の下に之を委任統治地としたのである。此の主義を現實する最善の方法は、該人民

に對する後見の任務を引受ける先進國で、資源經驗又は地理的位置の關係から此の責任を引受けるに最も適當してゐて、且之を受諾する國に委せ、國際聯盟に代つて後見の任務を行はしめるのである。

委任の性質については人民發達の程度、領土の地理的關係、經濟狀態其他類似の事情に従ひて差異を設けることになつてゐる。従前土耳其帝國に屬したる或部族、例へばユダヤ及びアルメニヤ部族は、獨立國として假承認を受け得る發達の程度に達した。尤も其の自立し得る時期に至る迄、施政上委任國の助言及び援助を受くべきものである。例へば英國のパレスチナの委任統治權を行施するのは、猶太國の自立し得る時期に至るまでである。委任國の選定に付ては主として當該部族の希望を考慮することを要する事にしてある。之も民族主義を實現したものである。

他の人民殊に中央アフリカの人民は、委任國に於て其の地域の施政の責に任ずべき程度にあるのである。英佛兩國が舊獨領トゴランド又はカメルン等の施政に當るのは

此の意味に於てである。西南アフリカ或は南太平洋諸島の如き地域は、人口が稀薄で、面積は狭小で、文明の中心より遠きこと、又は委任國領土の隣接せること、其の他の事情に因り、委任國領土の構成部分として、其の國法の下に施政を行ふが最もよい。赤道以南の舊獨逸領南洋が我が國の委任統治地となり、赤道以南の舊獨逸領南洋が、英米國、濠洲、ニュージランドの委任統治地となつたのは此の例である。

國・境

□國境界線及び我が國の國境

國の境界線は統治權の及ぶ限界を示すもので、平時には交通の門戸となり、戦時には防禦の障壁となるものであつて、其の選定には注意を要するものである。

境界線の種類には、山脈、河、湖沼、海洋等の自然物によるものと、人爲的に城壁、標石、塹溝等の類を設け、或は經緯線其他任意の線によつて定めたものがある。

我が國は從來海を以て國境としてゐたが、今は樺太では北緯五十度の線に沿ふて標

石を置いて露國との境を定め、朝鮮では鴨綠江、豆滿江及び白頭山を以て支那及び露國と境を分ち、關東州では西岸の亞當灣北岸から東岸貔子窩の北岸に至るまでを境とし、更に其北に中立地帯を設けてある。此の中立地帯は、我が國と支那との特別約定によつて、支那の自由行動を多少制限してゐる地方である。

□自然物による國境

山脈の國境 此の例は甚だ多く、ピレネー山脈は佛蘭西と西班牙の國境をなし、南部アンデス山脈はチリ國とアルガンチン國との國境をなしてゐる。またヒマラヤ山脈は印度と西藏との境をなしてゐる等である。

河川の國境 黒龍江は支那の滿洲と露領西比利亞との境で、ダニユーフ河下流はルーマニヤとブルガリヤとの境をなしてゐる。朝鮮と支那との境も其の西方は鴨綠江によつて分れてゐる。此例も少くない。

湖沼の國境 北米の五大湖は北米合衆國と英領加奈陀との境で、ボーデン湖は獨逸

と瑞西との國境をなし、裏海は露領と波斯との境をなしてゐる。

海洋の國境 我が本國及び英本國は四面皆海で境し、伊太利、丁抹は三面だけ海に圍まれてゐる。國境の一部分は海洋から出來てゐる國は多い。

□人爲的及び經緯線による國境

城壁及び堡砦の國境 萬里の長城は漢族が其の昔北方の蒙古人を防ぐ爲めに設けたものである。今は此の如き例は少ない。堡砦は通常國境から或距離を隔てて設けられる。佛・獨の國境、露・澳の國境等は此の例である。

標石及び塹溝の國境 樺太に於ける日・露の國境は森林中は樹木を伐りて標石を置き、之を定め、西海岸附近は塹溝によつて定めてゐる所もある。

經緯線の國境 北亞米利加洲に於て五大湖以西は、北米合衆國と英領加奈陀とは、北緯四十九度を以て國境とする。又加奈陀と米領アラスカとは西經百四十一度を以て境とする。樺太に於る日露の境界は北緯五十度の線によつたものである。

□緩衝地による國境

國と國との間には兩國の衝突を緩和する爲めに緩衝地を設けることがある。瑞西、白耳義等が永世局外中立國であるは即ち緩衝地の一例である。

我が關東州租借地と支那の滿洲との間には中立地帯があつて、此の時には國境は帶狀をなしてゐる。

英領印度の西北部にも亦緩衝地がある。即ち英領印度の行政區域の次には、千八百九十三年カプールで締結せられたゾーランド條約によつて、所謂ゾーランド線が定められてゐる。之は英國の勢力範圍内に在る種族と、アフガニスタンの下にあるものとの間に遙にチトラルからセースタンに達するまでの一線を引いて境としたものである。次に其の外にアフガニスタンの區域が初まるので總て三重の境となるのである。

□朝鮮に於ける國境と關東州の北境

之は鴨綠江、豆滿江及び白頭山によるのであるが、豆滿江の上流が不明であつたの

で、一時は日支兩國の國境に關する意見が一致せず、有名なる間島問題が起つた事がある。白頭山頂にある定界碑に國境を示した文句があつて、其中に東は土門江を以て兩國の境とすることになつてゐる。我が國では此の河が松花江の上流の土門江に當ると解釋し、間島地方は我が領地と見た。支那は之に反し土門江を豆滿江と解釋し、間島地方を支那領と見たのである。我が政府は後に讓歩して支那の説に従ひ、豆滿江の一支石乙水を以て境とすることに定めた。此の際に我が國は交換條件として安奉線の改修や、吉會線の敷設權を得た。

關東州北方に於る中立帶の北境は、西岸に於ては蓋州河口から起つて東に向ひ、岫巖州城の北を過ぎ、大洋河に至り、其の左岸に沿ひて河口に至るのである。

第九 政治

政體

□政體の區分

政體とは主權行動の形式を云ふので、即ち政治の仕方の事である。

國家統治の機關を立法、司法、行政の三部に分ち、且國會を開き國民の參政を許すの憲法を定め、之によりて政治を行ふ政體を立憲政體と云ふ。かかる統治機關の區別なく、且國民の參政を許さないで、三權を一人一機關の手に兼併するのを專制政體と云ふ。列國は皆立憲政體を行つてゐる。露西亞及び支那は近年まで專制政體であつて立憲政體の確立を見ない内に革命起り、共和國となつたが、國內の安寧秩序は未だ保持せられない。

波斯王國は西曆千九百六年に國會の開設に同意する事になつたが、未だ之を遂行せ

ず、却つて千九百十六年以來之を廢止したから、今日は專制政體と云ふべきである。

米國の行政權は大統領に委任する、大統領は民選で複選の法によつて選舉せられる。即各州に於て其の州會の規定する所により選舉人を定め、その選舉人が大統領を選舉する。立法權は憲法に據り國會に屬する。佛蘭西に於ては、行政を大統領及び内閣員に委任し、立法權は譯會に委任する。之等の國は共和國である。

英吉利に於ては至高の立法權は憲法に據り之を國會に委任し、行政は國王之に任ずる。然し之は唯名のみで實は内閣諸大臣之に任ずる。

□我が國の政體・憲法・皇室典範

明治天皇は深く國體の由つて來る所に鑑み給ひ、國民の幸福を増進し國家の進歩を扶持し給はんとの大御心から、明治二十二年紀元節の日を以て、皇室典範及び大日本帝國憲法を發布し給ひ、次いで二十三年帝國議會を召集せられた。爾來我が國は立憲政體の國となつた。帝國憲法は國家統治の根本たるべき大法で、皇室典範は皇室の大

事に關する根本法則を定めたものである。

我が國の憲法は第一章に統治權の主體及び之れが行使の形式を明らかにし、次に憲法上の大權事項を列記してある。第二章には臣民の權利及び義務を規定し、第三章は帝國議會が立法參贊の機關であることを明かにし、併せて其の組織及權限を規定し、第四章に於ては國務大臣及び樞密顧問の國法上に於ける地位を規定してある。第五章に於ては司法權の性質及び司法の範圍を規定し、第六章には豫算及び租稅の性質を規定してある。第七章は補則であつて總べて七十六條ある。

皇室典範の第一章は皇位繼承、第二章は踐社即位、第三章は成年立后立太子、第四章は敬稱、第五章は攝政、第六章は太傅、第七章は皇族、第八章は世傳御料、第九章は皇室經費、第十章は皇族訴訟及び懲戒、第十一章は皇族會議、第十二章は補則で合計六十二條ある。

□帝國議會と諸外國の國會の地位

帝國議會は二院制で、貴族院衆議院とからなり、法律案及び歳出、歳入の豫算を議定するのが其の任務である。貴族院は貴族院令の定むる所に依り、皇族、華族及勅任せられたる議員を以て組織し、衆議院は選舉法の定むる所に依り公選せられたる議員を以て組織する。

佛蘭西は民主國で國會の權力が大である。即國會は完全なる立法權を有し、大統領は其の議決に對して裁可及び不裁可の權なく、唯再議を求むることを得るのみである。國會は又大統領に反逆罪あれば之を彈劾することが出来る。又條約の締結及び攻撃的交戦に關する承諾權を有してゐる。

下院議員の選舉は普通選舉法によるもので、二十一歳の公民は選舉權がある。其の改選は四年毎に行ふ。上院議員選舉法は複選で、各邑區より入口の多寡に順じて選出したる選舉人と各州の上院議員、下院議員、州會議員、郡會議員と合して、選舉會を開いて之を選舉する。又上院議員の四分の一は上下兩院合同の選舉に係る終身議員で

ある。上院議員は四十歳以上の公民より九年の任期を以て選舉せられ、三年毎に其の三分の一を改選するのである。

北米合衆國にありては、三權分立の原則に依り立法權は國會に屬し、大統領は裁可又は不裁可の權なく、唯再議請求の權あるのみである。國會は大統領を彈劾することも出来る。又大統領が條約を締結するには元老院議員の三分の二以上の同意を要する。下院は諸州公民の男子に依り二年毎に選舉せられたる議員を以て組織し、元老院は各州より二人宛の議員を選出して之を組織する。其任期は六ヶ年で各州會に於て之を選舉する。

英吉利の主權は國王及び國會の共有であると英國の學者は説いてゐる。されど實際上國會の權力強くて國王は虚器を擁するの觀がある。國會は全く立法權を有する有様で、君主は拒否の權を有することになつてゐても、二百年來殆ど之を行つた事がない。國會は又條約の締結、宣戰媾和に關する全權を握つてゐる。國會に多數を有する黨派

から内閣大臣を出してゐる。君主の大臣任免權は唯形式上に止まつてゐる。國會は二院制で、上院と下院とから成つてゐる。

□吾國帝國議會の權限

我が國統治權の主體は天皇で、帝國議會は天皇統治の機關として之を協賛するものである。今帝國議會の權限を左に示す。

議會權 貴衆兩院共同して有する權。

- 一、協賛するの權。或事項の成立に參與する權。
- 二、憲法改正案の議定。
- 三、豫算案の議定。
- 四、國債を起し國庫の負擔とすべき契約をなすの議定。
- 五、毎年度大藏省證券發行の最高額の決定等。

- 二、承諾を與ふるの權。異議なきことを表示するに止るもの。
 - 1、緊急勅令を發せる場合。
 - 2、緊急の財政處分をなしたる場合。
 - 3、豫算の超過又は豫算外の支出をなしたる場合。
- 三、審査の權。決算に於ける場合。
議院權。兩院各自に有する權。
- 一、上奏の權。天皇に上奏するの權。
- 二、建議の權。政府に建議するの權。
- 三、國務大臣に對する質問の權。
- 四、人民より請願を受け及之を政府に送付するの權。
- 五、議院の自主權。議院規則を定め、院内の組織を立て秩序を維持し、及議員各個に對し資格審査をなし、懲戒を行ひ、請願又は辭職を許可する等の權。

□裁判所・制度・區別・所在

裁判所は法律によりて訴訟を裁判する。裁判所には大審院・控訴院・地方裁判所・區裁判所の別があつて三審制度が行はれてゐる。三審制度とは國家の裁判を三回まで請求し得る制度であつて、輕微の罪は區裁判所を第一審とし、重罪は地方裁判所を第一審とし、順次上級の裁判所に上訴し得るのである。

朝鮮には朝鮮總督府に屬する地方法院・覆審法院・高等法院を置き三審制である。臺灣には臺灣總督府に屬する裁判所があつて、地方法院、覆審院を置き、關東州には關東廳に屬する地方法院、高等法院があつて何れも二審制である。

内地の裁判所中、大審院は東京に、控訴院は東京・大阪・名古屋・廣島・長崎・仙臺・札幌にある、朝鮮の高等法院は京城に、覆審法院は京城・平壤・大邱に、地方法院は京城・公州・成興・平壤・海州・大邱・釜山・光州にある。臺灣の覆審法院は臺北に、地方法院は臺北・臺中・臺南にある。關東州の高等法院及び地方法院は共に旅順にある。

行政

□我國の行政官廳と中央行政機關

國家の行政事務を處理する機關を行政官廳と云ひ、中央に内務・外務・大藏・陸軍・海軍・司法・文部・農林・商工・逓信・鐵道の十一省がある。各省に大臣あつてそれ／＼全國行政を管掌する。各省大臣は國務大臣として内閣を組織し、内閣總理大臣は其の首班となりて行政各部の統一を圖る。

地方の中、本州・四國・九州の地方の三府、四十三縣には各に知事を置き、又北海道廳、樺太廳及び關東廳には各長官を置き、以て域内の行政を掌らしめ、朝鮮と臺灣とには各總督を置いてある。

内閣は國務大臣を以て組織する。内閣總理大臣は各大臣の首班として機務を奏宣し旨を承けて行政各部各部の統一を保持する。國務各大臣は天皇を輔弼し其の責に任ずる。尤て法律勅令其他國務に關する詔勅は國務大臣の副署を要する。

外務大臣は外國に關する政務の施行、外國に於る帝國商事の保護及外國在留帝國臣民に關する事務を管理し、外交官及び領事館を指揮監督する。

内務大臣は神寺・地方行政・議員選舉・警察・土木・衛生・地理・出版著作權・賑恤・救濟・拓殖等に關する事務を管理し警視總監、北海道廳長官、各府縣知事を監督する。

大藏大臣は政府の財務を總轄し、會計・出納・租稅・國債・貨幣・預金・保管物・銀行・信託・無盡等に關する事務を管理し、府縣郡市町村及び公共組合の財務を監督する。

陸軍大臣は陸軍軍政を管理し、陸軍軍人軍屬を總督し、所轄諸部を監督する。

海軍大臣は海軍々政を管理し、海軍々人軍屬を總督し、所轄諸部を監督する。

司法大臣は裁判所及檢事局を監督し、檢察事務を指揮し、民事刑事・訴訟事件・戶籍・

監獄・出獄人保護に關する事項、其他諸般の司法行政事務を管理する。

文部大臣は教育學藝・及宗教に關する事務を管理する。

農林大臣は農業・林野・水産等に關する事務を管理する。

商工大臣は商業・工業・並に工場法施行等に關する事務を管理する。

逓信大臣は郵便、電信、電話、航路標識等を管理し、發電水力に關する事務を掌り、電氣造船水陸運輸に關する事業及び航路船舶海員を監督する。

鐵道大臣は國有鐵道及其の附帶の業を管理し、地方鐵道及び軌道を監督する。又南滿洲鐵道株式會社の鐵道及び航路に關する業務を監督する。

□諸外國の行政官廳

北米合衆國 行政事務は十人の各省長に之を分任する。國務・大藏・陸軍・海軍・内務・逓信・檢事(總長)・農務・商務・勞働事務長官之である。

各省長官は大統領之を選定し、上院の承諾を経て之を任命する。又各州には各憲法があつて自治である。各州には上下兩院から成れる州會と知事とがある。各州は合衆國憲法に依り、合衆國政府の權限内に屬せざる事件又は州憲法の定めたる制限内の事件は總て之を處理するの權がある。州知事は全州人民の直接投票を以て選舉せられる。

佛蘭西 國務長官は十五の大臣に分任する。陸軍・司法・内務・外務・海軍・大藏・殖民・文部・工務・商務・農務・勞働・改造・恩給賠償・自由區域等の大臣がそれである。各國務長官は通常上下兩議員からなるけれども、また必ずしも然るを要しない。國務長官は各省で其省行政の責に任じ、政府一般の政策に關し、兩院に對して内閣員一同の連帶責任とする。内閣長官は大統領の承認を経て内閣員を選任する。

佛蘭西では行政上全國を分て八十九州とする。各州には各省よりの代理者を置き、之を政府より任命せられたる州長の下に立たしめて、廣大無限の職權を與へてある。州長は州參事會の協賛を受けるけれども、必ずしも其の意見に従ふを要しない。又州長は行政の代表者で法律の執行を監督し、自ら警察令を發し、州の事件に關し告達し屬官を任命し、又其の管内諸官吏を監督するの權がある。

英吉利、内閣諸員の任命は皆首相の奏上によるものである。内閣の進退は獨り下院中多數の囑望を得たると否とによつて決するの例である。大戦中は軍國內閣を五人で

組織してゐたが、一九一九年十月之を廢止し今は二十省に分けてゐる。此の外に尙十
六人の大臣がゐる。

英吉利の地方政治中イングランド及びウェールズの各縣には縣總督があつて君主を
代表し、多くは記録を保管する。又其の外に各縣に一人の縣監あつて行政を行ふ。又
此等の地方行政を行ふの目的を以て、六十二行政的縣に區分せられる。此の縣は古い
地理的縣と稍其の面積を異にする。

スコットランドにはスコットランド地方政務局が設けられ、スコットランド書記官
以下の有司がある。アイルランドには大陪審員が主要なる縣官であつたが、千八百九
十八年以來縣及び區に民選議院を設くるの制を定めた。アイルランド自治問題は英國
内政中最も困難なる事件であると云はれる。

□吾が國地方團體の自治機關

府縣は各之を分ちて郡・市となし、郡は更に之を分ちて町・村とする。我が國には郡

は六百三十六、市は七十九、町は千三百三十三、村は一萬八百三十九ある。

自治團體による行政は國政は國家間接の行政で、自治團體なる公法上の人格を認め
此に委任して自己の行政として行はしめるのである。地方自治團體の意思を表示する
機關は次のやうである。

一、市町村の機關 市町村の意思の決定する機關には、市に市會、町村には町村會が
ある。小町村では郡參事會の議決を以て町村條例を設け、公民の總會を以て町村會に
代ふる事が出来る。又市町村の意思を執行する機關としては、市に合議體の市參事會
町村には單獨制の町村長がある。

二、府縣の機關 府縣は唯決議機關を有するのみで、其の執行機關は國家の機關たる
府縣知事を以て之に當らしめる。府縣の機關は府縣知事、府參事會及び府縣會である。

外 交

□世界に於る我國の位置

列國は通商・航海等に關して互に條約を結び、互に首府に大使館又は公使館を置き、大使又は公使を派遣して國交を修めしめる。又重要な商業地等には領事館等を置き、領事等をして主として通商の事を掌らしめる。現今我が國と條約を結ぶ國は二十餘國ある。

近年英國との同盟、アメリカ合衆國との外交文書の交換を行ひ、支那とは特殊の條約を締結し、東洋平和の保持者として重要な位置を占めて居つた。世界大戰後、我が國は五大強國の一として重要な位置に上ることになつた。ベルサイユの平和會議に於て、國際聯盟を初め種々なる條約締結せられ、我が國は世界各國と協力して世界の平和を保持すべき重要な位置に立つに至つた。

□世界聯盟國及び我國の條約國

聯盟國とは國際聯盟の一員たる國で、原聯盟國と然らざるものとの二種に區別することが出来る。原聯盟國とは聯盟規約の附屬書に列記せられてゐるもので、之を更に

次の二種に分ける事が出来る。

第一 國際聯盟規約に署名し且聯盟規約の附屬書に列記せられる國。(二十三箇國五殖民地)

白耳義・ポリヴィヤ・伯刺西爾・英吉利・支那・玖馬・佛蘭西・希臘・グアテマラ・ハイチ・ヘデアース・伊太利・日本・リベリヤ・巴奈馬・秘露・波蘭・葡萄牙・ルーマニヤ・セブルプロアト・スロウエーヌ・暹羅・チエツコ・スロヴァキヤ・ウルグワイ・五殖民地は・加奈陀・濠太利・南阿弗利加・新西蘭・印度。

第二 對獨平和條約の署名國にあらざる國で、然も聯盟規約附屬書に列記せられる諸國即ち加盟を招請せられたる聯盟國。(十三箇國)

亞爾然丁・智利・哥倫比亞・丁抹・和蘭・諾威・ブラグワイ・波斯・サルヴァドル・西班牙・瑞典・瑞西・ヴェネズエラ。

次に原聯盟國に非ざる聯盟國が加盟するには、聯盟總會三分の二の同意を得ること

が必要である。而して此の同意には二つの條件が附帯する。即ち加盟を希望する國は國際義務遵守の誠意あることにつき有効なる保證を與へると共に、陸海及空軍の兵力其他の軍備に關し、聯盟の定めることのある準則を受諾することを必要とするのである。

第一回聯盟總會で加入を決定した國は次の六箇國である。

勃牙利・奧地利・芬蘭・コスタリカ・ルクセンブルグ・アルバニヤ。

我が國の條約國は次の諸國である。(修交・通商・航海條約締結せる國權)

支那・暹羅・英吉利・佛蘭西・伊太利・露西亞・白耳義・西班牙・希臘・諾威・和蘭・瑞典・瑞西・丁抹・亞米利加合衆國・墨西哥・ブラジル・亞爾然丁・智利・ペルー・ポリヴィヤ・エクワドル・コロンビヤ。(以上二十三箇國)

□大使及び公使

大使は特命全權公使の上席に着く資格ある外交官である。一八一五年ウィーン會議

の決議により、王家の名譽を有する國のみ大使を派遣することを得るのである。大戰前は英・佛・露・獨・奧・洪・伊・北米合衆國・日本等の國々の間に之を派遣し、イスパニヤは國勢強大ではないが舊格を守つて大使を派遣してゐた。

我が國では世界大戰の末期には倫敦・巴里・ローマ・ワシントン・ブルツェル・リオデジャネーロ等に大使を派遣してゐたが、奧洪國は瓦解したから平和回復後も大使を派遣するに至らない。されど伯林には派遣した。

公使は名稱上大使との區別はあるけれども、兩者の法律關係は何等の差異もない。公使館は外國領土内に在るも不可侵權を享存する。これは交親國彼我の國譽及び國權を尊重し、外交官の威嚴を保持し、何等の故障なく十分其の職務を執行せしめんがためである。我が國公使館所在地は左の通りである。

北京(支那)・盤谷(暹羅)・海牙(和蘭)・マドリッド(西班牙葡萄牙兼轄)・ストックホルム(瑞典・諾威・丁抹兼轄)・メキシコ(メキシコ)・サンチャゴ(智利・秘露・ポリヴィヤ)

管轄)・ベルン(瑞西)・ブエノスアレス(亞爾然丁)・ワルソー(ポーランド)・ブラーグ
(チエツコスロヴァキヤ)

□領事館の職能

領事は外國の諸地方に駐在し、其の地方に於る内國の人民、通商及航海の利益を保護する爲め、駐在地の地方官と交渉する官吏である。領事館は總領事、領事、副領事及び領事官補とし、外交官を置かざる地に於ては外交事務官を置くことが出来る。領事館を置かざる地に於ては貿易事務又は名譽領事を置くのである。我が國の總領事館及領事館の所在地は次の様である。

一、總領事館

間島(龍井村)あり、局子街、頭道溝、揮春に分館を置く)・吉林・奉天(新民に分館あり)・哈爾濱・天津・濟南・上海・漢口・成都・廣東・福州(以上支那)・香港・シンガポール(英領海峽殖民地)・カルカッタ(印度)・ラングーンに分館がある)・マニラ(フ

イリピン) (ダバオに分館を置く)・バタビヤ(ジャバ)・シドニー(濠洲)・ホノルル(布哇)・紐育・桑港(以上米國)・オタワ(加奈陀)・サンパウロ(ブラジル)・リベロンブレトールに分館を置く)・倫敦(英國)・モスコウ・浦鹽斯德(以上露國)・漢堡(獨逸)・

二、領事館

安東(通化に分館を置く)・遼陽・鄭家屯・鐵嶺(掏鹿)・海龍に分館を置く)・牛莊・長春(農安に分館を置く)・齊々哈爾・赤峰・芝罘・南京・蘇州・杭州・九江・宜昌・長沙・沙市・重慶・厦門・汕頭・雲南(以上支那)・オムスク・イルクツク・ブラゴエスチエンスク・ハバロフスク・ペトロパポフスク・ニコライエフスク(以上露國)・海防(佛領東京)・スラバヤ(瓜哇)・孟買(印度)・ポトサイド(埃及)・ケーブタウン(南阿)・ロスアンゼルス・シヤトル・ポートルランド・シカゴ(以上米國)・晚香波(加奈陀)・パナマ(パナマ)・黒馬(秘露)・リヨン・馬耳塞(以上佛國)・リバプール(英國)・アンヰエルス(白耳義)・パウルー(ブラヂル)。

兵 備

□兵備の必要

兵備は國家を守護し、國權を擁護するに大切なるものであるから、各國何れも兵力の充實と軍器の改良とに心を用ひてゐる。世界大戦後ベルサイユの平和會議に於て、兵備の制限につき大に注意を拂ひ、武備の競走を緩和することに勉め、平和主義は世界を通じて盛に行はれてゐるが、兵備を廢止する事は勿論出来ない。而も一朝事あらば國家總動員で、あらゆる物資、總ての工業力、最も進歩せる智力を合せ、國家の凡てをあげて戰爭に盡さねばならぬ事になつたから、國民の身體、精神の發達、工業の進歩、學術の進歩等については平素より之に努力し、戦時には國民の總てが大いに活動するの必要があるのである。

□西洋諸強國の兵備

陸軍と海軍とは鳥の兩翼の如く何れも大切なものであるが、地勢・國內の事情・外國

との關係等によつて各國多少の差異がある。歐洲に於ては、英國は島國であるから海軍に重きを置き、其の外の強國は陸を以て隣國に接してゐるから、その多くは國防上陸軍に重きを置いてゐる。世界大戦前陸軍常備軍の最も多かつたのは露國で、其數約百四十萬あつた。之に次いで獨逸の六十二萬、佛國の六十萬、英國の五十五萬、埃洪國の四十萬、伊太利の二十九萬の順であつた。而して大戦の際は男子總人口の約三分の一を動員して戰爭に参加した。

大戦後埃洪國は分裂し、露國は紛亂を來し獨逸は敗戦國として兵數を十萬に制限せられ、英・米二國は從來陸軍に力を盡さない國であるから、將來陸軍常備軍の數は一時多少減少するであらう。

英國は島國なるが上に領地及び航海を保護せんがため常に力を海軍の充實に用ひ、海軍の強大なること世界に比なく、大戦前には約百九十萬噸の艦艇を有してゐた。之について獨逸の八十五萬噸、米國の八十萬噸、佛蘭西の七十五萬噸、露國の六十六萬

噸、伊國の五十五萬噸、埃國の十五萬噸等があつた。

大戦後獨逸の常備海軍力は、戦艦六隻、輕巡洋艦六隻、驅逐艦十二隻、水雷艇十二隻を超てはならぬ事になつた。又埃國の海軍力も大に衰へ、數隻の巡邏船のみを保有することを許されることになり、露國も艦船二十二隻を算するのみになつた。

□大戦前列強陸軍兵力と大戦中主要國の動員數

一、大戦前に於る列強の陸軍兵力

	平時	戰時
露 西 亞	一三八萬	三六二萬
獨 逸	六〇	五〇〇
佛 蘭 西	六〇	四〇五
英 吉 利	五五	一〇七
埃 洪 國	三九	一九〇

伊 太 利	二九	三四
日 本	二九	一五〇

而して獨逸は大戦後十萬に制限せられ、埃國は三萬以下、洪國もほと同様に制限せられた。

二、大戦中主要國の動員總數

佛 蘭 西	九七〇萬
埃 洪 國	七三〇
露 國	六七〇
英 國	五七〇
伊 國	五二五
米 國	三七〇
獨 逸	二九〇

土耳其	二〇〇
羅馬尼亞	八〇
塞爾維亞	七一
勃蘭國	六〇
白俄羅斯	四五
黑山	二〇
日本	一六

□空軍と戦後の海軍力

世界大戦中各種の兵器大に發達したが、特に其の效果に於て最も著しいのは航空機であつた。故に英國に於ては海軍と並びて空軍を組織し、之を第一防禦として使用しやうとしてゐる。佛蘭西にては飛行機聯隊が出來た。一九一八年十月一日米國に於ては飛行機數一萬二千八百三臺を算し、其中二千三百五十臺は任務に服した。

休戦當時西方戰場に有したる機數は、佛國三二〇〇、英國二〇〇〇、伊國一〇〇〇、米國八〇〇、獨逸二六五〇であつて、日本は當時百臺を有してゐるに過ぎなかつた。大戦後獨逸や奧國には空軍を置かない事にした。戦後に於る主要國の海軍力

日本	九	一三	一二	一三	一〇〇	四三	二六
英國	四二	八	一五	九〇	四一〇	一五〇	一
佛國	七	一〇	一五	一二	八〇	一〇四	一〇〇
米國	一九	二〇	八	二二	四〇〇	一〇〇	一七
伊國	六	六	五	二三	五〇	八〇	七八
露國	三	五	五	八	一	一	一
獨逸	六	一	一	七	一二	一	一二

□軍備縮小と世界の平和

世界大戦の慘害を見て將來の永久の平和を確保するために、ベルサイユ平和條約に

於て締約國は戦争に訴へない義務を諾し、軍備は最低限度迄縮小することが必要であることを認めた。而して聯盟理事會は各國の地理的地位及諸般の事情を參酌して、軍備縮小に關する案を作成することになつた。

國際聯盟では聯盟各國の領土保全及現在の政治的獨立を尊重し、且外部の侵略に對して之を擁護することを約してゐる。されば民業による兵器彈藥及び軍用器材の製造は重大なる非議を起すものであるから、此の弊害を防ぐ事にとめてゐる。又聯盟國は其の軍備の規模、陸海軍及び空軍の企劃並に軍事上の目的に供することが出来る工業の狀況に關して報道を交換することを約してゐる。更に又聯盟國は聯盟國間に國交斷絶する虞ある紛争の起つたときには、之を仲裁々判又は聯盟理事會の審査に付し、且仲裁々判の判決後又は聯盟理事會の報告後三月を経過するまで、如何なる場合に於ても戦争に訴へないことを約してゐる。

斯く戦争を防遏し、平和を望んでなるべく戦禍を免れやうとしてゐるので、軍備制

限は重大なる問題となつたのである。

□我が國の兵備

我が國民は建國以來尙武の氣象に富んでゐる。往昔は國民皆兵の制度であつたが、中古以來兵馬の權は専ら武門の掌る所となつた。然るに大政維新の後明治五年詔して海内皆兵の制度に復せられ、帝國の男子は満十七歳より四十歳まで兵役の義務がある。兵役は常備(現役、豫備役)、後備・補充・國民の四種に分れる。又兵備は之を陸軍と海軍とに分ち、全國の壯丁をして兵役に服せしめることになつた。近時航空術の進歩に隨つて航空大隊を設けられる様になつた。

陸軍に在りては内地を十四師管區に分ち、各師管區に師團を設く。別に近衛師團を置いて宮闕の守衛に任せしめる。又朝鮮には二個の師團を置き、其の一部は今尙朝鮮駐劄軍に屬する。臺灣・滿洲には各守備隊を置き、而して要害の地には要塞又は守備隊を置いて居る。

海軍は凡て八十餘萬噸の艦艇があつて世界第三位の海軍國である。全國の海岸と海面とを三海軍區に分ち、鎮守府をして之を管せしめる。鎮守府は出師の準備、防禦の計劃、海軍區の警備を掌り、又所屬地を監督する。各海軍區に軍港を設け、要害の地には特に要港を置く。陸奥の大湊、澎湖島の馬公、威鏡南道の永興灣等は此の要港である。又關東州には別に旅順を要港としてある。舞鶴は軍縮の結果鎮守府を廢して要港となつた。

我が國の常備軍は約二十萬で、戦時は約百萬餘である。外國人は戦時は百五十萬を超ゆるであらうと想像してゐる。然し將來戦に於ては、男子は總數の約三分の一は動員せられると見ねばならぬ。

□我が國兵役の種類及び年限

(兵種)	(陸軍)	(海軍)
常備兵役現役	三年	四年

常備兵役豫備役	四年四ヶ月	三年
後備兵役	十年	五年
補充兵役	十二年四ヶ月	一年
國民兵役	役(第一國民兵役) 第二國民兵役) 滿四十歳迄	滿四十歳迄

常備兵役中の現役は、滿二十歳の男子中より選拔し、現役を終れば順次豫備役、後備役、第一國民兵役に服する。補充兵役は現役に補缺の出來た場合に召集せられる。第一國民兵役は後備兵役の終りたるもの及び召集せられたる補充兵役の役を終りたるもの之に服し、其の他は第二國民兵役に服する。

□要塞・警備・守備・派兵

要塞は要害の海灣海峽等に設けられてある。内地に於ては東京灣・由良(紀淡及び鳴門)・廣島灣・藝備・函館・舞鶴・下關・佐世保・長崎の九箇所である。新領土にあつては鎮海灣・永興灣・基隆・澎湖島・旅順の五箇所にある。

警備隊は對島及び沖繩に置いてある。

守備隊は臺灣及び滿洲に配置してある。臺灣に於ては第一守備隊司令部を臺北に置き、第二守備隊司令部を臺南に置く、南滿洲守備隊主要衛戍地は、公主嶺・鐵開原・奉天・連山關・大石橋・瓦房店等である。

朝鮮に於ける守備は羅南の第十九師團及び龍山の第二十師團を以て之にあてゝゐる其の歩兵聯隊は次の様に配置されてゐる。

- 歩兵第七十三聯隊羅南 歩兵第七十四聯隊咸興
- 同 第七十五聯隊會寧 同 第七十六聯隊羅南
- 同 第七十七聯隊平壤 同 第七十八聯隊龍山
- 同 第七十九聯隊龍山 同 第八十聯隊大邱

此の外に臨時朝鮮派遣歩兵第一大隊は江原道春川、第二大隊は全羅南道光州、第三大隊は咸鏡南道元山、第四大隊は平安北道定州、第五大隊は黃海道海州、第六大隊は

忠清北道清州に置いてある。

支那の國情不安である爲め、我國から一小部隊を支那に派遣し駐屯せしめてある。北支那駐屯軍司令部を天津に置き、其の歩兵大隊を天津と北京に置いてある。又中支那派遣隊司令部を漢口に置き、こゝに一大隊を置いてある。

□近衛師團司令部及び師團の配置

近衛師團司令部は東京麴町區代官町にある。此の司令部の内部は、參謀部、副官部、經理部、獸醫部等に分れてゐることは他の各師團司令部と變りはない。又次に示すのは各師團の所在地である。

- 近衛(東京)・第一師團(東京)・第二(仙臺)・第三(名古屋)・第四(大阪)・第五(廣島)・第六(熊本)・第七(旭川)・第八(弘前)・第九(金澤)・第十(姫路)・第十一(善通寺)・第十二(小倉)・第十三(高田)・第十四(宇都宮)・第十四(豊橋)・第十六(京都)・第十七(岡山)・第十八(久留米)・第十九(朝鮮羅南)・第二十(朝鮮龍山)。

財政

□歳出・歳入・國債

財政とは國家其他の公共團體が、其の發達に必要な收入・支出を調ふる經濟的行爲である。歳出とは一會計年度に於ける國家經費の總支出をいひ、主として國防・交通・産業・教育等の費用に充てらる。歳入とは經費支辨のため一會計年度に於る金錢の總収入をいひ、歳出と相伴ふもので租税及び政府の經營に係る事業の収益、例へば郵便・電信・電話・鐵道の收入・鹽・煙草等の專賣の益金等を其の財源とし、尙不足を告ぐる時は國債を募集して之に充てることがある。

大戰前列強國中歳出の最も多きは露國で、其の額約三十四億圓に達し、米國の二十一億圓、佛國の二十一億圓之に次ぐ。

世界大戰中より列國の歳出は非常に増加し、戦後尙戦前の如く減少せず、其の額最も大なるは米國であつて、大正九年に約三百七億圓に達し、英國の約百六十七億圓、

佛國の約二百億圓、獨逸の約百二十億圓、波蘭の約七十六億圓、埃國の約四十五億圓、チエツコスロバキヤの約四十三億圓、露國の約四十一億圓等は之に次ぐものである。

歳入の最も多きは英國の約百三十四億圓で、獨逸の百二十億圓、米國の九十三億圓、佛國の四十五億圓、露國の四十一億圓、チエツコスロバキヤの三十二億圓等之に次ぐ。

國債の最も巨額に達してゐる國は埃國で約千三百九十億圓、獨逸千二十億圓、佛國九百五十四億圓、英國八百八億圓、米國四百十億圓、露國二百五十二億圓、波蘭百二十四億圓等の順である。

我が國の歳出歳入は、明治二十七八年戦役前までは各約一億圓であつたが、其の後軍備擴張、新事業の施設等によつて次第に増加し、歳出歳入各約十五億圓に達した。

又國債は日露戦役後急に増加し、今猶五十億圓ある。されば我が國民は富力に比して其の負擔は決して輕くない。しかし歐米列強は大戦に於て莫大な經費を消費し、巨額の國債を負擔することになつたが、我が國の戦費は比較的になく、交通・貿易等の

經濟上に得た利益は大であつたから、比較的幸福であつたと云はねばならぬ。

□列國の歳出・歳入・國債の比較

大戦前後の歳出比較

英	佛	獨	米	伊	日	露	埃
國	國	逸	國	國	本	國	國
一九一三年	一九二〇年						
二〇億圓	一六七億圓	二一	六六	二一	一一	三四	一四
	一九八	一一一	三〇七	二五	一	四一	四五

大戦前後の歳入比較

洪	波	チエツコスロバキヤ
國	蘭	
一九二〇年		
一九	七六	四三

一九一三年

一九二〇年

英	佛	獨	米	伊	日	露
國	國	國	國	國	本	國
二〇億圓	一三四億圓	二一	一四	一一	七	三四
	四五	一二七	九三	二三	一一	四一(一九一八)

埃 國 一四

洪 國 九

チエツコスロバキヤ

一五

一四

三二

一五

波 蘭

大戦前後の國債比較

一九一三年

一九二〇年

七一億圓

八〇八億圓

一三二

九五四

二四

一〇二五

二一

一一〇

五五

三三六(一九一九年)

二五

五〇

英 佛 獨 米 伊 日
國 國 國 國 國 本

露 埃 白 洪

國 國 國 國

九九

二五二(?)

二一

一三八八

一五

五一

二七

五一(?)

第十 教育・神社・宗教

教育

□教育概況

教育は人類の智徳を増進し、其の品位を高潔ならしむるもので、古來より此の教育の普及について努力した學者も東西を通じて少なくない、又各國家にありてはその盛衰は教育の興廢に負ふ所極めて大なるものがある。されば主要なる列國は競つて力を之に盡さないものはない。

世界大戦前に於て、教育の大いに發達し、學術の研究の最も盛んであつた國は獨逸で、大學の數は二十三の多きに上り、實業教育もよく整つてゐた。

英吉利は實用の學を尊び、其の大學は十八あつて人物の養成について有名なものがある。

佛蘭西人は文藝學術に長じ此等に關する學校も多い。公立の大學は十六ある。

米國に於ては婦人の教育にも重きを置き、其の大学生も約二十六萬人の中婦人の大学生十萬人ある。又大學程度の學校は種々あつて其の程度も區々であるが、總數五百七十七校に達し、私立は其の五分の三を占めてゐる。

□列國の教育の狀態

1、獨逸、義務教育年限は六歳から十四歳までであるが、一九一三年の徴兵検査に無學者は百分中、〇四であつた。一九一一年に小學校生徒數千三十餘萬、中等學校生徒數六十四萬あつた。一九一四年に於る大学生總數は五萬三千餘で、學生の最も多い大學は伯林大學八千人、ミュヘン大學五千五百人、ライプチヒ大學四千四百人、ボン大學四千四百人等である。大戦後は各學校の生徒數及學生數は減少してゐる。

2、英吉利、英吉利の學制は區々であるが、義務教育年限は五歳より十四歳までである。一九一八年に小學校生徒數八百九十餘萬人、中等學校生徒數約三十萬あつた。

大學々生數千九百年に約四萬四千あつて、オクスフォード四千人、ケンブリッジ三千八百人、エジンバラ三千五百人、グラスゴー二千八百人等であつたが、戦時に至つて大いに減少し、一九二〇年には再び増加して總數四萬五千人となつた。其の中學生の多い大學は、ロンドン六千人、ケンブリッジ四千四百人、エジンバラ四千三百人、グラスゴー三千九百人、オクスフォード三千六百人、シェフィールド千五百人等である。

3、佛蘭西、義務教育年限は六歳乃至十三歳で、一九一三年の徴兵検査の際、無學者は百分中二・五であつた。一九一三年にアルゼリヤを合せて小學校生徒數五百七十餘萬で、一九一八年には約三百餘萬であつた。一九一七年官立大學十六校で學生總數一萬四千人であつた。其の主要なる大學はパリ・ボルドー・ストラスブルグ・リヨン等である。

4、米國、米國に於る初等教育制度は各州によつて異なつてゐる。一九一〇年に十

歳以上の無學者は總人口の百分中七・七を占めてゐた。一九一六年に小學校生徒數約二千五十六萬人、中等學校生徒數百七十萬人、大學及び専門學校學生總數約二十六萬人であつた。有名なる大學は、ハーバード(ケンブリヂ)、マサチューセッツ州・イエール(ニューヘヴン)、コンネクチカット州・コロンビア(ニューヨーク)、プリンストン(プリンストン)、ニューゼアジー州・ミシガン(アンアーホル)、(ミシガン州)、ジョンズホプキンス(バルチモア)、ペンシルバニア(フィラデルフィヤ)、カリフォルニア(バークレー)、シカゴ(シカゴ)、コーネル(イサカ)、(ニューヨーク州)、クラーク(ウオセスター)、(マサチューセッツ州)等である。

□我が國の教育状態

我が國は近來益教育の進歩普及に力を盡し、全國到る所に小學校を設けて國民を養成し、世界に比類稀なる進歩をなした。内地の小學校は其の數二萬五千を越え、内地全人口二千につき平均一校を有する割合で、學齡兒童の不就學者は百分の一・三に過ぎ

ない。又中學校、高等女學校、實科高等女學校等があつて高等なる普通教育を施し、各種の實業學校では實業に關する普通の知識技能を授け、高等師範學校及び師範學校では教師を養成する。

帝國大學及び公私立の大學・高等學校・醫學專門學校・高等商業學校・高等工業學校等を始め、各種の專門學校に於ては高等専門の知識技能を授け、又陸海軍大學校・陸軍士官學校・海軍兵學校等があつて陸海軍の將校を養成してゐる。

初等教育・中等教育の進歩の結果、高等教育機關の不足甚だしくなつたので、遂に政府は大正七年の議會に其の擴張案を提出して可決を見たので、次第に各種の學校が増築されることになつた。

□學校及び生徒數

我が國に於ては大正六年度末に於ける學齡兒童の就學歩合は、百分中九八・七三で、不就學者は一、二七に過ぎない。又全國小學校は二萬五千五百六十二校で、一市町村平

均二校に當る。小學生徒數は八百八十七萬二千餘人である。

中學校の施設も著しく發達し、學校數三百八十五校、生徒數十九萬四千四百餘人である。高等女學校及び大正元年より施設せられたる實科高等女學校を併せて五百八十八校、生徒數十七萬六千七百餘人である。師範學校は九十四校、生徒數約九千を數へる。又實業學校は六百九十二校、生徒數約十五萬を數へて居る。

專門學校七十餘、學生約四萬、高等學校は從來八校で、學生約六千四百であつたが大正八年から大いに増設せられ其の數北海道帝國大學豫科、京城帝國大學豫科を合せて三十、學生數一萬八千餘を數へてゐる。

帝國大學は從來四校で、學生も九千七百餘であつたが、現在は六校、學生數は約一萬四千を數へてゐる。

□各學校の所在地

1、帝國大學 東京・京都・東北(仙臺)・北海道・九州・京城。

2、商科大學

東京。

3、醫科大學

新潟・岡山・千葉・金澤・長崎。

4、高等學校

第一(東京)・第二(仙臺)・第三(京都)・第四(金澤)・第五(熊本)・第六(岡

山)・第七(鹿兒島)・第八(名古屋)・新潟・松本・山口・松山・水戸・山形・佐賀・弘前・松

江・東京・大阪・浦和・福岡・静岡・高知・姫路・廣島・富山・武藏・甲南・北大豫科・京大豫

科。

5、高等師範學校

東京・廣島。

女子高等師範學校 東京・奈良。

6、專門學校

a、藥學校 富山・熊本。

b、外國語學校 東京・大阪。

c、美術學校 東京。

d、音樂學校 東京。

e、高等商業學校 神戸・長崎・山口・小樽・名古屋・福島・大分・彦根・和歌山・横濱・高
松・高岡。

f、高等工業學校 東京・大阪・名古屋・熊本・米澤・桐生・横濱・廣島・金澤・仙臺・山
梨・明治・長岡・福井・德島・濱松・神戸。北大土木專門部。

g、高等工藝學校 東京・京都。

h、高等農業學校 盛岡・鹿兒島・三重・宇都宮・岐阜・宮崎・鳥取。

i、鑛山專門學校 秋田。

j、蠶絲及蠶業學校 上田・東京・京都。

k、水產及商船學校 東京・神戸・東京水產講習所・北大水產專門部。

以上官立諸學校。

7、公私立大學 大阪醫科大學・愛知醫科大學・京都府立醫科大學・熊本醫科大學・早稻

田大學・慶應義塾大學・法政大學・明治大學・中央大學・日本大學・同志社大學・國學院大學・龍谷大學・大谷大學・關西大學・東京慈惠會醫科大學・東洋協會大學・立命館大學・專修大學・立教大學・立正大學・東京農業大學・駒澤大學。

8、公立、私立、專門學校、東洋大學・上智大學・宗教大學・天台宗大學・豊山大學・臨濟宗大學・高野山大學・智山勸學院・關西學院・大東文化學院・聖公會神學院・東京物理學校・京都繪畫專門學校・佛教專門學校・日本醫學專門學校・東京醫學專門學校・東京齒科醫學專門學校・日本齒科醫學專門學校・大阪齒科醫學專門學校・九州齒科醫學專門學校。

9、公立、私立、女子專門學校、福岡女子專門學校・大阪女子專門學校・日本女子大學・東京女子大學・帝國女子專門學校・女子英學塾・活水女子專門學校・京都女子高等專門學校・東京女子專門學校・梅花女子專門學校・東京女子醫學專門學校・明華女子齒科醫學專門學校・東京女子齒科醫學專門學校・帝國女子醫學專門學校・道修女子藥學專門學校・聖心女子學院高等專門學校。

神社

□神社の別及び其の數

我が國には古來皇室の御先祖を初め奉り、民族の先祖、其他國家に功勞あつた人々を神として祀り、永く其の徳に報ひ、之を崇敬するの美風がある。伊勢神宮は天照大神を祀り奉り、國家の尊崇極めて厚く、大事には必ず奉告の式を行はれる。

神社には官幣社、別格官幣社、國幣社、府縣社、郷社、村社、無格社等あつて其總數約十一萬七千である。官幣社は大社(五四)・中社(二一)・小社(四)に分れ、其の幣帛料は皇室から出る。國幣社は大社(五)・中社(四六)・小社(二四)に分れ、其の幣帛料は國庫から出る。官幣社と國幣社は神代の神及び皇族を祭る。別格官幣社は人臣中國家に功勞あつた人々を祭るのである。因幡國宇倍神(武内宿禰)は國幣中社で、九州太宰府(菅原道真)は官幣中社として祭られてゐるのは例外である。

古社の多い地方は古くから開けた地方であることがわかる。國幣社以上の神社數五

箇所以上を有する府縣は、京都(二〇)・奈良(一〇)・兵庫(八)・福岡(八)・大阪(七)・島根(七)・和歌山(六)・山口(六)・山形(五)・鹿児島(五)等である。

府縣社は其の數六百四十八あつて、幣帛料は府縣より、郷社(三四六)は郡より、村社(四五一六五)は村より出るのである。此の外無格社と稱するものは一地方の人民の尊崇禮祭するもので、其の數六百七千餘あるが、近來併合の結果其の數の減少する傾向がある。

凡て神社に關する行政は内務省の神社局で取扱ひ、宗教に關するものは文部省の宗教局で取扱つてゐる。即ち神宮神社と宗教とは一緒に見られてゐないのである。

□各神社祭神の例

一、官幣大社の例

社名	祭神	所在地
平安神宮	桓武天皇	京都

出雲大社	大國主命	島根
宮崎宮	應神天皇	福岡
鹿島神宮	武甕槌神	茨城
吉野宮	後醍醐天皇	奈良
明治神宮	明治天皇	東京

二、官幣中社の例

赤間宮	安徳天皇	山口
鎌倉宮	護良親王	神奈川
北野神社	菅原道真	京都
長岡神社	事代主神	兵庫
吉備津神社	大吉備津彦命	岡山

三、官幣小社の例

大國魂神社

武藏大國魂神

東京

竈門神社

玉依姫命

福岡

四、別格官幣社の例

豊國神社

豊臣秀吉

京都

談山神社

藤原鎌足

大和

湊川神社

楠木正成

神戶

東照宮

徳川家康

日光

照國神社

島津齊彬

鹿児島

五、國幣大社の例

氣多神社

大己貴命

石川

大山祇神社

大山積神

愛媛

六、國幣中社の例

二荒山神社

積城入彦命

栃木

鶴岡八幡宮

應神天皇

神奈川

七、國幣小社の例

浅間神社

木花開耶姫命

静岡

湯殿山神社

大山祇命

山形

八、府縣社の例

湯島神社

天手力男命

東京

高山神社

菅原道真

群馬

宇治神社

菟道稚郎子

京都

宗教

□宗教的意識の發達

宗教の本質は神と人とが交渉すると云ふ意識にある。即ち靈魂の不滅の信念を基礎

とし、人が神に對して抱ける觀念・信仰を云ふのである。宗教を大別して原始的宗教と歴史的宗教とすることが出来る。

原始的宗教とは、天體或は山川巨樹、或は怪異な物などを怖れ、之を神として崇拜するの類であつて、多くの神の存在を信ずる多神教等も之に屬すべきものである。現今未開の地である阿弗利加中部以南、大洋洲、南北亞米利加、西比利亞等の土人の中には之を奉ずるもの多く、總數約一億七千四百萬と稱せられる。

歴史的宗教とは宗教上の偉人が出て宗教の教義を創作又は大成し、永く道德的感化を與へ、社會の風習に大影響を與へたものである。佛教、基督教等は其の例である。又宗教中には猶太教の如く一民族又は一國家のみに行はれてゐるものもある。

人智の幼稚なる時代にあつては、自然の偉力又は怪異を怖れ、之を神として祀つて吉凶禍福を祈るのみであつたが、人智の進むにつれて善惡二神の對立を信じ、又凡てのものを統一する神、即ち最上の神の存在を信じ常に之に服従せんとするに至る。更

に進んでは自から神と合一せんとし、又他人を救濟せんとするに至る。宗教が斯くの如くに發達し來れば、其の教は世界的となつて、布教傳道等も盛んに行はれるに至る。世界の大宗教は皆此の域に進んだものである。

□佛教

佛教は紀元前六世紀の中頃、印度の北部にあつた伽毘良城主淨飯王の子悉達太子即ち釋迦牟尼の開いた教である。印度の階級制度と結合してゐた婆羅門教に反對して、平等を主張し一切の衆生は皆佛性ありと云ひ、如何なる人も覺者(佛陀)になり得るのであると説いて慈悲をすゝめた。故に佛教は一時は亞細亞の中部・東部・南部に行はれ、東印度諸島に及んだが、後印度教及びマホメット教の勃興するに及んで、聊かその勢を失つた觀がある。

現時は我が國を始め支那・印度・印度支那等に行はれ、其の信徒數は四億二千四百萬と稱せられる。この内から支那の儒教・道教・我國の神道の信者等を除くと一億三千萬

ほどであるとも云はれてゐる。

佛教の分派は多数であるが之を大別して小乗教と大乘教とにすることが出来る。小乗教は上座正統派で保守的色彩を帯び戒律を勵行する。印度、錫蘭島、印度支那等に行はれ南方佛教とも稱せられる。大乘教は大衆革新派で進歩的色彩を帯び理想に着目する。支那・日本等に多く行はれ、北方佛教とも稱せられる。

又別に佛教を變形したものに喇嘛教がある。之は大乘佛教が印度及西藏の女神崇拜と結んで出来たもので、西藏・新疆省・蒙古・滿洲等に行はれ、西藏の拉薩にゐる達賴喇嘛・蒙古の庫倫にゐる活佛等は大に崇拜せられてゐる。信徒數約八百萬と算せられてゐる。

最近に至つて歐洲諸國に於て盛んに研究せられ、可なり有名な學者も出てゐる。

□基督教

基督教は千九百餘年前、西部亞細亞のシリヤに起つたものである。博愛を主とする

一神教で信仰によつて神に救はれ、又人を救はんとするものである。主として歐羅巴人種の居住する諸地方に行はれ。信徒は五億九千萬に及ぶ。其の主なるものは希臘教・舊教・新教の三派である。

1、希臘教 初めは東ローマ帝國に行はれたもので、其の皇帝が偶像禁止令を發してから舊教と分離することになつたもので、信者に自由讀經を許し、復活祭と稱する特殊の儀式を行つてゐる。其の支配者は後にモスコー監督長に移り、更に露西亞皇帝となつたのである。主として希臘族・スラブ族之を奉じ、ロシア・バルカン半島地方に盛に行はれ、信者約一億三千二百萬を數へてゐる。

2、舊教 初め西ローマ帝國に行はれたもので、第八世紀の初め東ローマ皇帝の偶像禁止令に反對して之と絶ち、羅馬法皇が中心となつて發達せしめたものである。法王は今日尙舊教の支配者である。此の派に於ては教會・教職・宗教會議の定めることをよく信奉し、七大禮と稱する儀式を固く行つてゐる。主としてラテン民族間に行

はれ、佛國・伊國・西國・葡國・白國・埃國・中米・南米等で其の信徒は二億七千九百萬に及ぶ。

3、新教 新教は第十六世紀の初葉にルーテル及びカルビン等が羅馬法皇に反抗してから起つたもので、主として聖書を信賴し、羅馬法王の命と雖も不正と信ずる場合は之を奉じないとの信念の上に立ち、聖書の解釋についても自由にまかせて置くのである。儀式も簡易で晚餐禮・洗禮等をよく行ふのみである。主としてチュートン民族即ち獨逸・和蘭・丁抹・諾威・瑞典・英吉利・米國等に行はれ、信徒約一億八千萬を數ふ。

□マホメット教

マホメット教は第六世紀の末葉に亞刺比亞に起つたもので、開祖はマホメットである。アラートを奉ずる一神教で、偶像を排斥し、祈禱・絶食・布施・巡禮等を重んじ、コーラン(經典)を信仰する。

此の宗教は政治と關係があつたので一時非常の勢力で普及した。今日では土耳其を中心として亞細亞の西南部・中部・馬來諸島・阿弗利加の北部・東部・中部等に行はれ、信徒は二億三千五百萬ある。其の分派はスンナ派とシーヤ派がある。スンナ派は土耳其皇帝を支配者に仰ぎスンナ(傳説)を信じ、マホメットの妻の父アブラクル以下を尊奉するものであつて、マホメット教徒の大部分は之を屬する。之に反してシーヤ派は土耳其皇帝を奉ぜず、スンナを信奉せず、マホメットの女婿アリを尊奉するもので、其の信徒數は僅かである。

□印度教及び猶太教

佛敎興隆以後之の反動として起つたのが印度宗教の正統派で、古代の婆羅門教の改造せられたものである。此の宗教哲理を呼號したのは、第八世紀に出たる商羯羅阿闍梨である。

印度教は多神教で特に梵天(開發の神)・溼婆(破壞の神)・毘濕紐(保存の神)の三神を

崇拜する。中にも後の二神は民間に最も信仰せられ、遂に溼婆・毘濕紐の兩派に分れた。印度教では女神の崇拜盛に行はれ、又神々の居住往來せし所とし、神聖視するもの多く、ガンジス河の如き其の例である。又此の教では農具は耕作上必要なるものであるから、之を神聖視してゐる。主として印度に行はれ、信徒約二億三千萬餘である。

猶太教は猶太人の奉ずる一神教で、其の外面の形式はモーゼから傳來したと稱せられる律法の儀例に協はせんと力むるのである。其の信徒は約一千二百萬と稱せられる。猶太人は其の故國パレスチナ地方には少數ゐるのみで世界各地に分散してゐる。即ち露國・埃國・獨國・北米合衆國・其他各地に居住してゐるから、猶太教も此の地方に行はれてゐる。

我が國の宗教

□神道とその分派

神道は我國特有の道で、敬神尊重の旨を體し、天理人道を明かにするを以て理想と

する教で、祖先を崇拜し、神代の諸神を崇め、神代の傳説を重んずるのである。現今は神道・黒住教・修成派・大社教・扶桑教・實行教・大成教・神習教・御嶽教・禊教・神理教・金光教・天理教の十三派ある。其の發生は概ね徳川幕府の末期から明治維新の初年にあつて、現今では七萬二千の教師が活動してゐる。金光教・天理教等の如きは既に海外の布教に従事し、其の信教及求信者は金光教は百萬、天理教は五百萬と稱せられる。今左に神道中の主要なるものを略記する。

1、神道 明治八年四月神道全體のために設けられたる神道事務局は、明治十七年より一派の神道教派となり、明治十九年一月名を神道と改めた、本局は東京麻布にある。祭神は天御中主神以下九柱及び天津八百萬神・國津八百萬神である。教師の數は約八千三百人ある。

2、黒住教 教祖は黒住宗忠、文化十一年冬至に一種の天啓を得たるに初まり、明治九年から獨立した。祭神は天照大御神で八百萬神及び教祖宗忠神を合祀する。本部

は岡山縣御津郡今村大字上中野にある。教師の數は三千九百人餘である。

3、修成派 首唱者は新田邦光である。修理固成即ち實踐躬行を重んじ、又日神の光華明彩の神徳に則らんことを期す。故に信者は常に修理固成、光華明彩の八字を合唱する。祭神は造の三神以下數多の神々である。明治九年に獨立して一派を成す。教務本局は埼玉縣北足立郡與野町にある。教師の數は七千二百餘人である。

4、大社教 祭神は大國主神外五柱である。この派では大國主神の經國治世の神意を守り、惟神の大道を講明して斯民の天性を全くせしめ、上は國家に報い、下は其分を盡せしめるのが要旨である。明治十五年獨立した。本部は出雲國杵築町にある。教師の數は三千九百餘人ある。

5、金光教 安政年中に起り、明治三十三年獨立した。教祖は川中文治郎(金光大神)で、祭神は天・地・金の三大御神と教祖金光神である。本部は岡山縣淺口郡三和村にある。教師は千五百九十人餘ある。

6、天理教 教祖は中山美伎子、天保九年天啓を得たるに始まり、明治四十一年獨立した。祭神は國常立尊以下十柱を天理大神と總稱す。天理は宇宙の生成、活動、變化の有形無形の理を意味する。其の十柱の神とは此の根本神靈の任務の分類であるといふ。本部は奈良縣山邊郡丹波市町三島にある。天理教中學と名づけるものがある。つて教師を養成してゐる。教師の數は二萬一千を越えてゐる。

□佛教ごその宗派

佛教は印度から支那を経て古く我が國に傳はり、我が國の文明に大影響を及ぼしたもので、現今十二宗五十六派に分れ、寺院の數七萬餘に及ぶ。法相・華嚴・天台・眞言の諸宗は古くから行はれ、念佛宗・淨土宗・眞宗・日蓮宗・時宗等は我が國人によりて開始せられ、又別に禪宗に屬する臨濟・曹洞・黃檗の三宗がある。現今最も盛んなるは眞宗で、寺院の數一萬九千六百餘・曹洞の一萬四千餘・眞言の一萬二千・淨土の八千三百・臨濟の六千・日蓮の五千・天台の四千五百等の順である。

- 1、天台宗 法華經を中心として佛陀釋尊の本性を發揮するを主とする。平安朝の初め最澄之を我が國に傳へて大に其特色を發揮した。其の寺院三百以上ある府縣は千葉・滋賀・群馬の三縣である。天台宗は三派に分れ、本山に延暦寺・園城寺等がある。
- 2、眞言宗 印度教を混合し、大日如來なる別の佛陀を奉じて、密法を行ふ。我が國では平安朝の初め僧空海之を傳へ盛んに行はれた。現今寺院七百以上ある府縣は千葉・埼玉の二縣である。此宗は十一派に分れ、本山は金剛峯寺(和歌山)・仁和寺(京都)・東寺(京都)・西大寺(奈良)等である。
- 8、淨土宗 阿彌陀如來なる佛陀を信じて西方極樂に生れるのを理想とするので、我國に於ては源空之を唱へた。其の寺院七百以上ある府縣は京都府・愛知縣である。此の宗は二派に分れ本山は京都の知恩院である。
- 4、臨濟宗 禪宗の一派である。禪宗は禪定を修めて心性を得悟するが故に名けられたもので、印度の禪法と支那の靜觀文學と相合して直覺主義となつたものである。

此の宗は臨濟義玄の開いたもので、我が國では榮西を祖とする。其の寺院五百以上ある府縣は静岡・岐阜・京都等である。臨濟宗は十四派に分れ、本山に京都妙心寺・神奈川圓覺寺・京都の天龍寺等がある。

5、曹洞宗 禪宗の一派で其の名は其の高僧の居住した曹溪山と洞山との山名から出たもので、我國には道元之を傳へた。其の寺院の七百以上ある府縣は静岡・愛知・山形・新潟等である。本山には福井の永平寺、神奈川の總持寺等がある。

6、黄檗宗 禪宗の一宗で僧隱元が萬治二年に山城宇治の黄檗山に萬福寺を創建してから其の名が起つた。其の寺院總數五百餘で、四十以上あるのは滋賀・大阪・福岡の府縣である。

7、眞宗 淨土宗の宗旨を一層簡明通俗にし、僧保に肉食妻帯を許し、僧俗の別を打破したものであつて親鸞之を唱へた。之は現今最も盛に行はれるもので、其の寺院七百以上ある府縣は大阪・滋賀・富山・岐阜・愛知・石川・兵庫・福井・三重・福岡・福島の

諸府縣である。眞宗は十派に分れ、京都に西及び東本願寺等の本山がある。

8、日蓮宗 天台宗より出て、特に現世淨土の理想を發揮し、法華經を重んずるもので日蓮が之を唱へた。其の寺院の七百以上あるのは千葉縣である。此の宗は九派に分れ、本山に山梨の久遠寺・東京の本門寺等がある。

□基督教と其の教派

基督教は其の傳來してから日尙淺いから、未だ他教の様に盛んではない。現今其の派は二十餘に分れ、教會數一千四百餘、宣布者二千五百餘人で、其の三分の一は外國人である。日本聖公會・日本基督教會・日本メソヂスト教會等が盛んで、ハリストス正教・天主教・組合基督教會・浸禮教會・救世軍等が之についてゐる。

基督教は主として、主要開港場或は主要都會の如き西洋文明に接觸し易い所、或は新開地等に多く行はれる。東京・北海道・長崎・兵庫・大阪・宮城・神奈川・静岡・千葉・京都・福岡等の諸府縣には教會が多いのである。

1、日本聖公會 新教の一派で、宗教上の儀式秩序を重んじ、監督・長老・執事の三職を確守する。其の監督制度のみが他の新教各派と異なる。安政六年リッギンス及びウイリアムズ兩氏によつて傳へられ、其の會堂は二百十餘で北海道・東京府・福岡縣に多い。

2、日本基督教會 新教の一派 イギリス教會と異なるは長老執事を認めて、監督を認めざるにある。明治五年組織せられ、現今は會堂二百六十に近く東京府・大阪府・宮城縣・北海道・福島縣等に多い。

3、日本メソヂスト教會 メソヂスト派はジョン・ウエスリーの熱心によつて獨立教會となつたもので、和蘭の神學者アルミニウスの説を奉じ、監督があつて長老派と異つてゐる。我が國には明治六年米國のマクレー氏等によつて傳へられ、明治四十年在日本メソヂスト教會派が合同して出來たものである。會堂は約二百あつて、長崎縣・東京府等に多い。

- 4、**ハリストス正教**、ギリシヤ教會とも稱す。初めカサトキンニコライが文久元年函館に來て傳道につとめ、明治二十三年東京神田駿河臺に殿堂を建立し大に布教につとめた。會堂は現今百三十餘あつて、岩手縣・宮城縣・北海道・静岡縣等に多い。
- 5、**天主教**、天文年間傳はつた所謂切支丹宗で、其後禁止せられたが、明治六年其の禁止を廢した。ペチー氏はローマ法皇の命を奉じ、慶應二年から宣布した。現今會堂數は百九十餘、其の三分の一は長崎縣にあつて、鹿兒島縣・北海道之に次いでゐる。
- 6、**組合基督教會**、英人ロベルトブラウンが主唱したものである。この派では教會又は組合は一切教儀上の事物に就て完全の權能を有し、他の監督長老結集等より獨立せるものとするのである。我が國には明治二年米人グリーン博士之を傳へ、明治八年に至り新島襄が同志社を建て、から盛になつた。現在會堂數は百三十餘で、京都府・兵庫縣・岡山縣・北海道等に多し。

7、**浸禮教會**、之は洗禮を以て、水中に浸洗すべき浸禮であると主張し、幼年者の受洗に反對するものである。會堂數約七十で、東京府・大阪府・兵庫縣・福岡縣等に盛んである。

8、**救世軍**、人類の罪惡と基督の全き贖罪とを高調せる、直截にして且實際的の福音で、軍隊的組織の下に活動してゐる。其の創立者はウイリアムブースである。我が國に傳はつたのは明治二十八年で、現今會堂四十餘あつて、東京府・兵庫縣・群馬縣に多し。

第十一 産 業

産 業

□地勢・風土・天産物と産業

産業は富國の基であるから、各國は其の保護獎勵及び實業の教育等につき競つて力を之に盡し、國力の充實を圖らないものはない。

産業の種類方法と文化の程度とは密接な關係がある、未開の時代に於ては、人類は概ね簡易なる漁獵を營み、或は遊牧を事とするに過ぎなかつたが、人智の進むに従つて、農業・牧畜・林業或は商業・工業に更に文明に進むにつれて、それ等の分業の方法がよく行はれる様になつた。

産業には種類多く、地勢・風土・天産物等の異同によつて各地其の趣を異にする。肥沃なる平野で、雨量潤澤なる地方には農業盛に行はれる。支那平原・印度平原・ミシシ

ッピ―河の流域、露西亞の平原等は其の例で、米國に於ては住民の約三割五分は農業に従事してゐる。佛國も風土農耕に適し、住民の四割餘は農業に従事してゐる。又沿海の國は水産もあり住民も海に慣れてゐるので水産業發達する。日本・英國・諾威等は其の例である。又有用礦物の所在地は鑛業發達する。英國・獨逸・米國等に於る鐵・石炭の産地等は其の好例である。

工業上原料又は動力等を得るに便なる地方に於ては種々の工業發達する。例へば北米合衆國の東北部は石炭・石油等の燃料に富み、又大湖地方の原料を運搬し來るに便利であるから各種の工業が發達してゐる、獨逸のライン河の中流地方も石炭の産に富み、外國より水運を利用して原料を運び來るに便であるから工業地となつてゐる。瑞西は水力を利用して特殊の工業が發達し、住民の四割餘は工業に従事してゐる。

又貨物の集散に便なる地に於ては商業が發達してゐる。北米合衆國の東北部は水産・交通の便多く、附近の商品を歐洲に出すにも好都合であるか、商業發達し、英國は歐

米の中間海路に位して、貨物の集散に便で、また良港多く、貨物を海岸に出すにも容易であるから、商業の繁榮を見るのである。又和蘭はライン河口にあつて通商貿易が盛んである。

農業

□農業と風土の関係

農業は風土の影響を受くること頗る多いから、作物の種類・品質及び收穫の量は各地同様でない。例へば甘藷は暖地に適し、馬鈴薯は寒地及び温地に適してゐる。

臺灣の如き暖地に於ては、米は年に二度も收穫する事が出来るが、其の品質は内地の産に比して劣つてゐる。又内地でも氣候の温寒、土地の肥瘠、地質の相違等によつて、同一面積に於る産額の多寡、品質の優劣等の相違がある。故に我が國に於ては、一反歩の收穫高は奈良縣の如きは二石三斗に及び、青森縣に於ては約一石六斗である。又品質に於ては本州のもの最も優れ、北海道之につき臺灣の産は最も劣るのである。

□米と茶について

米は温暖なる多濕地に適し、高温地にあつては其の收穫は最も大である。亞細亞洲南部及び東部の季節風帯を主産地とする。即ち日本・中支那・南支那・印度平原及び印度東岸の平野・印度支那の平原(ビルマ・シヤム・佛領印度)等に多く産す。英領印度の如きは我が産額の約六倍を産する。されどこの地は支那及び日本と共に人口が多いので米の輸出は少い。支那に於ては米の輸出を禁止し、我が國でも近時米の供給は需用に充たないので非常に不便を感じてゐる。米の輸出地は印度支那半島の各地及びジャバ等であつて、サイゴン・ラングーン・バンコック等は有名なる米の輸出港である。

茶は温暖にして降雨の量多き斜面の地を好み、製茶に紅茶・緑茶・磚茶等の別がある。我が國では南日本の太平洋斜面の丘陵に多く栽培せられ、支那では中部及び南部の丘陵地に多く、印度ではアッサム地方、セイロン島が主産地である。この三國の輸出品は世界の市場で其の優劣を競ふてゐる。印度のカルカッタ・支那の漢口・上海・日本の